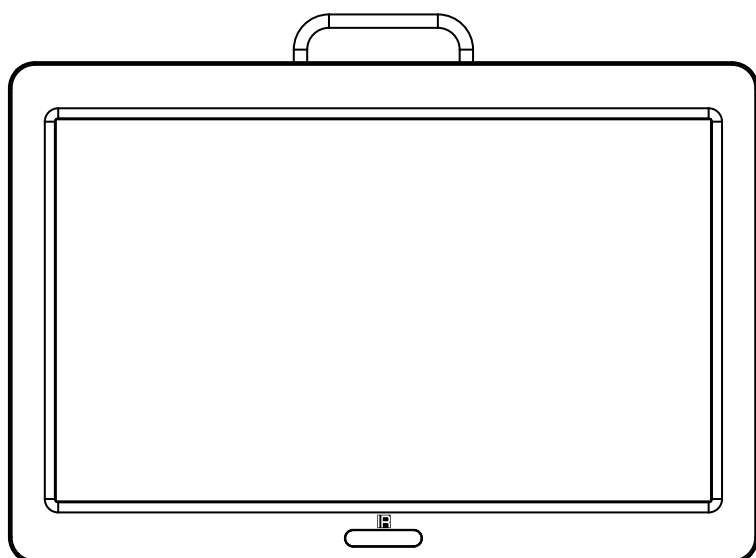


この度は本製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

9インチ液晶／地デジテレビ

取扱説明書



<必ずお読みください>

電気製品は安全の為に注意事項を守らないと、重大な事故が起きる場合があります。この取扱説明書には、事故を未然に防ぐ為の重要な事項や取扱い方法を明示しております。本書をよくお読みの上、安全にご使用くださいますようお願い申し上げます。

※本書はいつでも見られる場所へ大切に保管してください。

目次

はじめに

安全上の注意	3-6
付属品リスト	7
各部名称（本体）	8
各部名称（リモコン）	9
リモコンについて	10
ご視聴前の準備	
機器の設置	11
B-CAS カードの準備	12
アンテナの準備	13
電源の準備	14
放送局（CH）の登録	15-16
アンテナ受信レベル	17
充電池について	18
テレビを視聴する	
基本的な使い方	19-20
電子番組ガイド（EPG）の利用	21
「録画」に関する機能や操作	
録画機能について	22
録画用メディアの準備	23-24
「録画」に関する機能の利用	25-28
付加機能を利用する	
外部機器の接続／入力ソース切換	29
メディアプレーヤーソフトの利用	30-31
機器の調整（機器設定メニュー）	32
リモコンの主なボタン操作（テレビモード）	33
（その他のモード）	34
トラブルシューティング	35-37
製品仕様	38
その他（各種注釈や免責など）	39
アフターサービス／保証規定	40

- ご使用前に当項「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- 当項に明示された事項（「警告」「注意」）は安全に関する重大な内容が記載されておりますので必ずお守りください。
- 当項に明示された事項を守らず故障や不具合が発生しても保証は適用されず、当社では一切の責任を負いません。

■表示の説明

表 示	表 示 の 意 味
 警告	“ 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重症（*1）を負うことが想定されること ” を示します。
 注意	“ 取扱いを誤った場合、使用者が傷害（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定されること ” を示します。

（*1） 重症とは失明やケガ、やけど（高温／低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院や長期通院を要するものをさします。

（*2） 傷害とは治療に入院や長期通院を要さないケガ、やけど、感電などをさします。

（*3） 物的損害とは家屋、家財および家畜、ペットなどに関わる拡大損害をさします。

■図記号の例

図 記 号	図 記 号 の 意 味
	“  ” は禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や付近に絵や文章で示します。
	“  ” は指示行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制事項の内容は、図記号の中や付近に絵や文章で示します。
	“  ” は注意を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や付近に絵や文章で示します。

異常／故障のとき	 警告
発煙や異臭がおきた場合、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと そのままご使用を続けると、火災や感電の原因となる場合があります。発煙がおさまったことを確認し、お買い上げ販売店またはカスタマーサポートセンターまでご連絡ください。	 電源プラグを抜く
内部に水や異物が入った場合、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと そのままご使用を続けると、火災や感電の原因となる場合があります。お買い上げ販売店またはカスタマーサポートセンターまで点検をご依頼ください。	 電源プラグを抜く
製品の落下やキャビネットの破損がおきた場合、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと そのままご使用を続けると、火災や感電の原因となる場合があります。お買い上げ販売店またはカスタマーサポートセンターまで点検をご依頼ください。	 電源プラグを抜く
コード部分の損傷や電源プラグの異常な発熱がおきた場合、すぐに電源を切り、プラグが冷えたことを確認し、コンセントから抜くこと そのままご使用を続けると、火災や感電の原因となる場合があります。お買い上げ販売店またはカスタマーサポートセンターまで点検をご依頼ください。	 電源プラグを抜く

設置されるとき	 警告
お風呂、シャワー室、キッチンなど、水のかかる恐れのある場所には設置しないこと 火災や感電の原因となる場合があります。	 指示
電源プラグは先に本体に接続してからコンセント（またはシガーソケット）に接続すること 電源アダプターは付属されている本機専用のアダプターを使用すること 接続順を逆にしたり、付属品以外の物を使用した場合、火災や感電の原因となる場合があります。（※車用 DC アダプターは DC12V マイナスアース車専用です）	 指示
お風呂、シャワー室、キッチンなど、水のかかる恐れのある場所には設置しないこと 火災や感電の原因となる場合があります。	 禁止
機器や付属品の上に物を置かないこと 金属類、液体が入ったもの（花瓶、コップ、化粧品など）、重いものなどを機器の上に置くと、機器の破損、火災、感電、ケガなどの原因となる場合があります。	 上載せ 禁止
ご使用されるとき	 警告
改造・分解・修理などおこなわないこと 火災や感電の原因となる場合があります。 点検や修理はお買い上げ販売店またはカスタマーサポートセンターまでご依頼ください。	 分解禁止
端子部や通気口などから異物を入れないこと 金属類、紙類、ほこりなどが内部に入るとショートして火災や感電の原因となる場合があります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。	 異物挿入 禁止
雷が鳴りだしたら、本機およびアダプター等には触れないこと 感電の原因となる場合があります。	 接触禁止
コード類（電源コード、接続コードなど）は 「傷をつける」「延長などの加工を施す」「加熱する」「引っ張る」「無理に曲げる」 「ねじる」「束ねる」「重い物を載せる」などの行為をおこなわないこと コード内部で断線やショートして、火災や感電の原因となる場合があります。	 禁止
お手入れについて	 警告
電源プラグの刃や刃の取付け面、コンセントの差込部分にゴミやほこりが付着している場合は、プラグを抜きしっかり取り除くこと 電源プラグの絶縁低下により、ショート、火災、感電の原因となる場合があります。	 指示

設置されるとき	 注意
温度の高い場所に設置しないこと 直射日光の当たる場所や締め切った自動車内や暖房機器周辺などに置くと、火災や感電の原因となる場合があります。また機器や部品の劣化、破損する恐れがあります。	 禁止
湿気、油煙、ほこりの多い場所に設置しないこと 火災や感電の原因となる場合があります。 また機器や部品の劣化、腐食、変形、破損する恐れがあります。	 禁止
風通しが悪い（換気できない）場所に設置しないこと 内部の温度が上昇し、ショート、故障、火災の原因となる場合があります。 特に「壁に押し付ける」「押入れや本棚に設置する」 「布や紙など引火しやすい物の付近に設置する」 などの行為をおこなわないこと	 禁止
設置場所を移動する場合、電源プラグや接続コードは外すこと プラグやコードを抜かずに運ぶと、コード類が傷つき、断線や故障、火災、感電の原因となる場合があります。また転倒によりケガをする恐れがあります。	 指示
ご使用されるとき	 注意
電源プラグを抜く場合、コード部分を引っ張らないこと コードを引っ張ると、コードが傷つき、断線、ショート、火災、感電の原因となる場合があります。必ず電源プラグを持って、抜いてください。	 引っ張り 禁止
濡れた手で電源プラグやコード類、コンセントを触らないこと 感電や機器の故障の原因となる場合があります。	 接触禁止
本機を長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜くこと 万一故障した場合、火災の原因となる場合があります。	 電源プラグ
主電源を入れる際は本体や接続機器の音量（ボリューム）にご注意ください。 最大音量の場合、大きな音が出て聴覚障害などの原因となる場合があります。	 指示
リモコンの電池を準備（交換）する場合、以下にご注意ください。 「指定外の電池を使用しない」「電池の仕様以外の方法で使用しない（推奨期限の厳守等）」 「極性（+/-）を間違えない」「使い切った電池をリモコンに放置しない」 ... など 正しく使用されない場合、液漏れ、破裂などにより、火傷やケガの原因となる場合があります。 （※ご購入初期時に同梱されている電池は試用品です）	 指示

◎取り扱いに関すること

- 引越しなどで遠方へ運ぶときは、柔らかい布などで包み、本機に傷がつかないようにご注意ください。
- 殺虫剤や揮発性の物をかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などと長時間接触させないでください。本機外観の変色や塗装が傷む原因となります。
- 普段本機をご使用されないときは、ディスクを取り出し主電源のスイッチを切っておいてください。
- 本機を長時間ご使用されると機器内部基盤が多少発熱する場合がありますが故障ではありません。
- 長期に渡り未使用状態が続くと機器機能に支障がでる場合があります。

◎置き場所に関すること

- 本機は水平な場所に設置してください。グラグラする机や傾斜地など不安定な場所では使用しないでください。「倒れる」「落下する」などが起きてケガや故障の原因となる場合があります。
- 本機をテレビやラジオ、その他電子機器の周辺で使用すると、ノイズや電磁波などの干渉により映像や音声が乱れるなどの症状がでる場合があります。このような場合は設置場所を他の機器と干渉しない場所に移動してご使用ください。

◎お手入れに関すること

- キャビネットや操作パネル部分の汚れは柔らかい布などで軽く拭き取ってください。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤を布にひたし、よく絞ってから拭き取ってください。汚れが取れたら乾いた布で水分をしっかりと拭き取ってください。
(注) ベンジン、シンナー等は使用しないこと。本機外観の変色や塗装が傷む原因となります。
- 化学ぞうきんをご利用される場合はその注意書きにしたがってください。

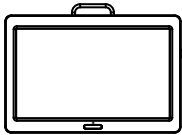
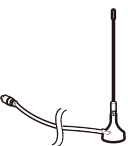
◎日本国内用／一般家庭用機器です

- 本機は日本国内で使用することを前提に製造されております。また一般家庭用機器として製造されております。日本国外での使用、業務用途、異常な連続使用などは行わないでください。

◎結露（露付き）について

- 結露は機器を傷めます。結露が起きそうな場所や条件下でのご使用にはご注意ください。
(参考) “結露” はこんなときにおきます。
 - ◇ 寒暖の差が激しい季節（特に車内や締め切った部屋など）
 - ◇ 機器を寒い場所から急に暖かい場所に移動したとき
 - ◇ エアコン / ストープ / その他冷暖房などにより部屋の室温が急に変化したとき
 - ◇ エアコン / ストープ / その他冷暖房の風が直接あたる場所
 - ◇ 湿度の高い部屋で使用了とき
- 結露が生じて本機に水滴が付いた場合、
「電源（コンセントなど）」「アダプター」「電源プラグ」を接続し、暫く放置します。機器内部の温度が上がり、水滴がとれます。（※2～3時間 ※使用場所や環境により時間は異なります）

◎本機をご使用いただく前に、以下の内容物が全て揃っていることをご確認ください。

 ●本体	 ●リモコン (試用電池付)	 ●AC アダプター	 ●シガーソケット アダプター (12V 車専用)
 ●AV 接続コード (RCA) (Φ3.5mm)	 ●TV 受信用 簡易アンテナ (屋外用)	 ●取扱説明書 (本書)	 ●製品保証書
 ●車載用バッグ	 ●B-CAS カード		

※リモコン付属の電池はテスト用の試供品です。早めに新品と交換してください。

※シガーソケットアダプターについて ...

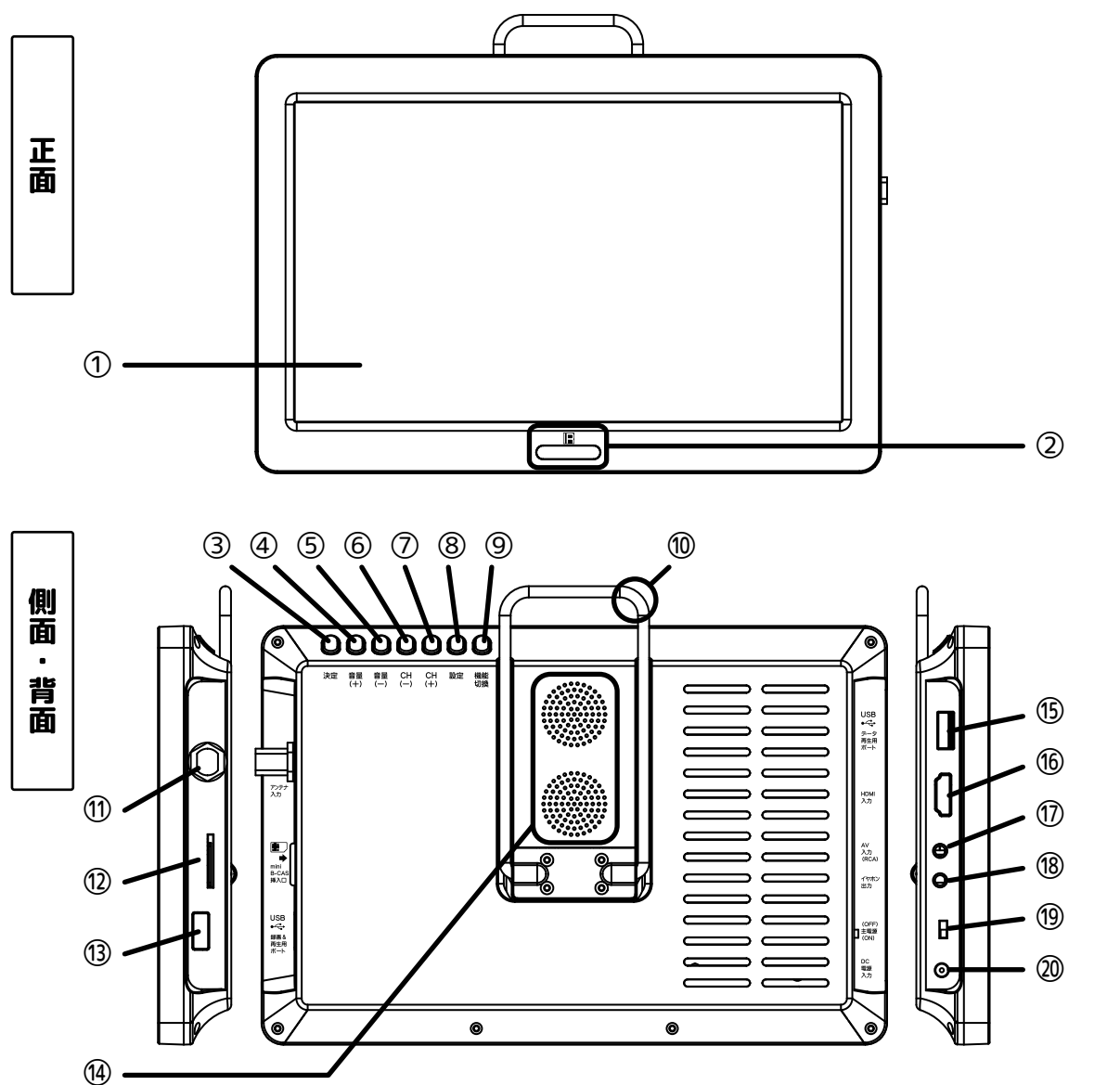
- お車でご使用の際は、安全な場所に停車してからご使用ください。
- お車と接続する際は、エンジンをかけてから接続してください。
- 当アダプターは DC12V バッテリー仕様の自動車専用です。
- 当アダプターはマイナスアース車専用です。
- 当アダプターの形状は一般的な車のシガーソケット形状に合せたものです。
車側のソケット部仕様によっては取付けられない場合があります。

※TV 受信用簡易アンテナについて ...

- 本製品付属のアンテナは屋外用の簡易的なアンテナです。ブースター等は非搭載の為、設置場所によっては受信（視聴）できない場合があります。
特に初期設定（チャンネル登録など）を行う際はスキンの失敗や登録漏れを防ぐ為、受信感度の高いアンテナと接続して設定を行ってください。

※イラストは説明用のものです。実物とは異なる場合があります。

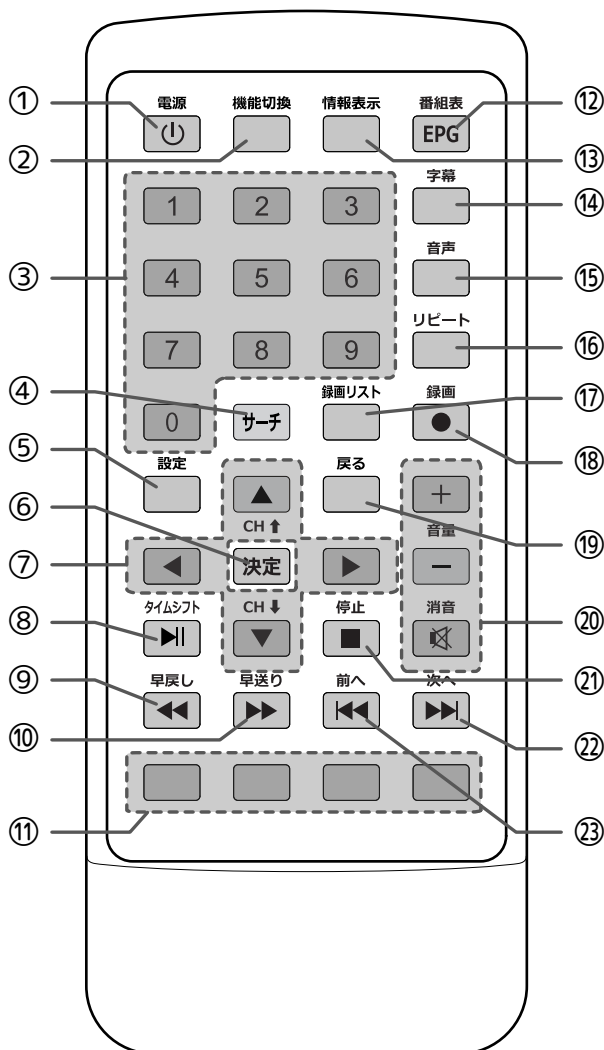
各部名称（本体）



- | | | |
|-------------------|-------------------|------------|
| ① 液晶モニター | ② リモコン受光部&電源表示ランプ | |
| ③ 決定ボタン | ④ 音量(+)ボタン | ⑤ 音量(-)ボタン |
| ⑥ CH(-)ボタン | ⑦ CH(+)ボタン | ⑧ 設定ボタン |
| ⑨ 機能切換ボタン | ⑩ 設置用スタンド | ⑪ アンテナ入力端子 |
| ⑫ miniB-CASカード挿入口 | ⑬ 地デジ録画用USBポート | ⑭ スピーカー |
| ⑮ 外部データ再生用USBポート | ⑯ イヤホン出力端子 | ⑰ HDMI入力端子 |
| | | ⑱ 主電源スイッチ |
| ⑳ DC電源入力端子 | | |

各部名称（リモコン）

- ① 電源ボタン *オン⇄スリープ
- ② 機能切換ボタン *モード切換
(DTV / AV / HDMI / USB)
- ③ 数字ボタン *選局 / 数字入力
- ④ サーチボタン *CH登録
- ⑤ 設定ボタン *設定メニュー表示
決定ボタン
- ⑥ *選択項目を実行
*TV視聴時に放送局情報を表示
- ⑦ 十字ボタン
*カーソル移動
*TV視聴時 : CH選局
- ⑧ タイムシフトボタン
*TV視聴中 : タイムシフト機能へ
*データ再生時 : 再生 / 一時停止
- ⑨ 早戻しボタン *データの早戻し
- ⑩ 早送りボタン *データの早送り
- ⑪ 〈赤〉〈緑〉〈黄〉〈青〉ボタン
*EPGや録画データの操作など
- ⑫ EPG番組表ボタン
*TV視聴中の番組ガイドを表示
- ⑬ 情報表示ボタン
*TV視聴中 : (1回押) 番組名表示
(2回押) 詳細情報表示
*データ再生中 : 操作ガイド表示
- ⑭ 字幕ボタン *字幕放送の設定
- ⑮ 音声ボタン *音声の設定 (主 / 副 / 主+副)
- ⑯ リピートボタン *データ再生時のリピート設定
- ⑰ 録画リストボタン *録画データのリスト表示
- ⑱ 録画ボタン *視聴中番組をダイレクト録画
- ⑲ 戻るボタン *操作項目に戻る
- ⑳ 音量ボタン (+/- / 消音) *音量の調整
- ㉑ 停止ボタン *データ再生の停止
- ㉒ 次へボタン *次のデータへスキップ移動
- ㉓ 前へボタン *前のデータへスキップ移動

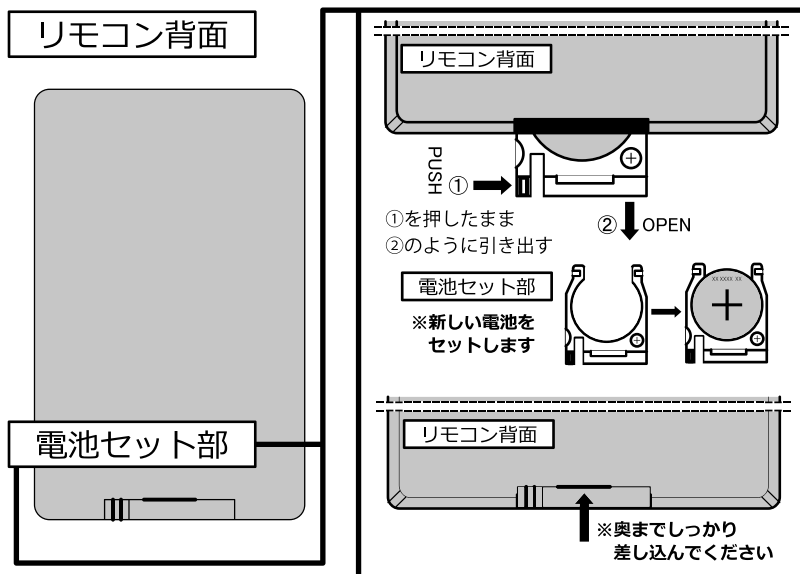


◎リモコン用の電池について

- リモコン用電池の規格型番は「CR2025」型ボタン電池です。
電池をご用意いただく際は型番をご確認の上お買い求めください。
- 製品お買い上げ時に初期セットされた電池はテスト用試供品です。
早々に新品の電池と交換してください。

◎電池の交換方法

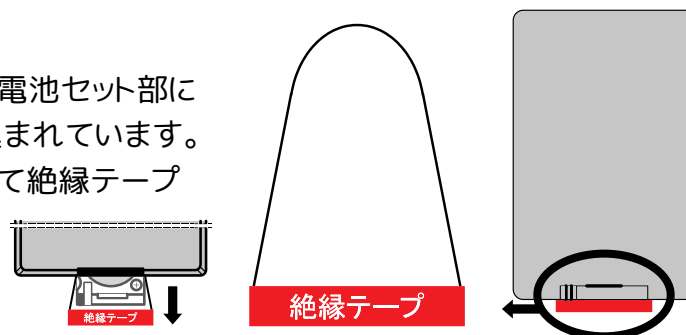
- ① 電池セット部のツメを右に押したまま、電池挿入トレー部分を引き出す。
- ② 古い電池を取り出し、新しい電池と交換。
※電池の向きに注意!
- ③ 電池挿入トレー部分をセット部に奥まで正確に挿し込む。



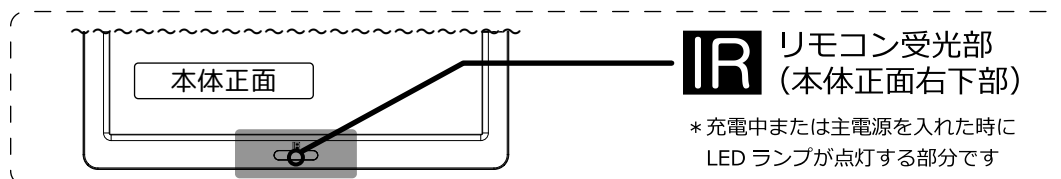
※電池交換作業を行う場合、電池セット部のツメ折れやキズなどには十分ご注意ください。

◎リモコンの使用方法

- 製品お買い上げ時にはリモコン電池セット部に図のような絶縁テープが差し込まれています。電池挿入トレー部分を引き出して絶縁テープを外してください。



- リモコンを使用する場合、リモコンの赤外線発射部を本機のリモコン受光部に向けて操作してください。受光する角度は、 $\pm 30^\circ$ 、距離は 3m 以内です。

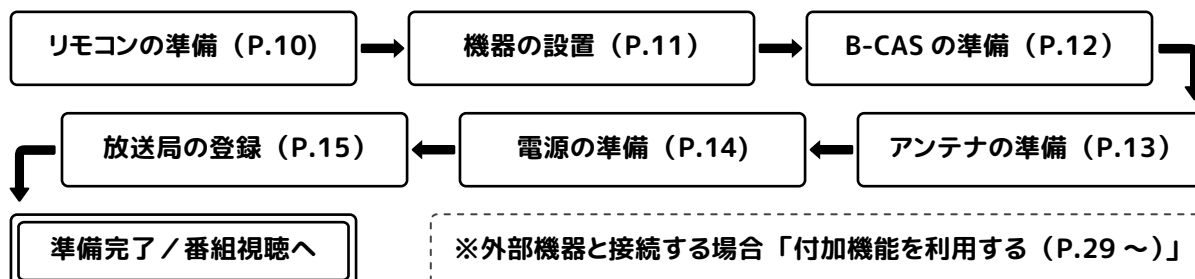


※本体受光部やリモコン赤外線発射部に太陽光など強い光をあてないでください。
正常に作動しない場合があります。

ご視聴前の準備

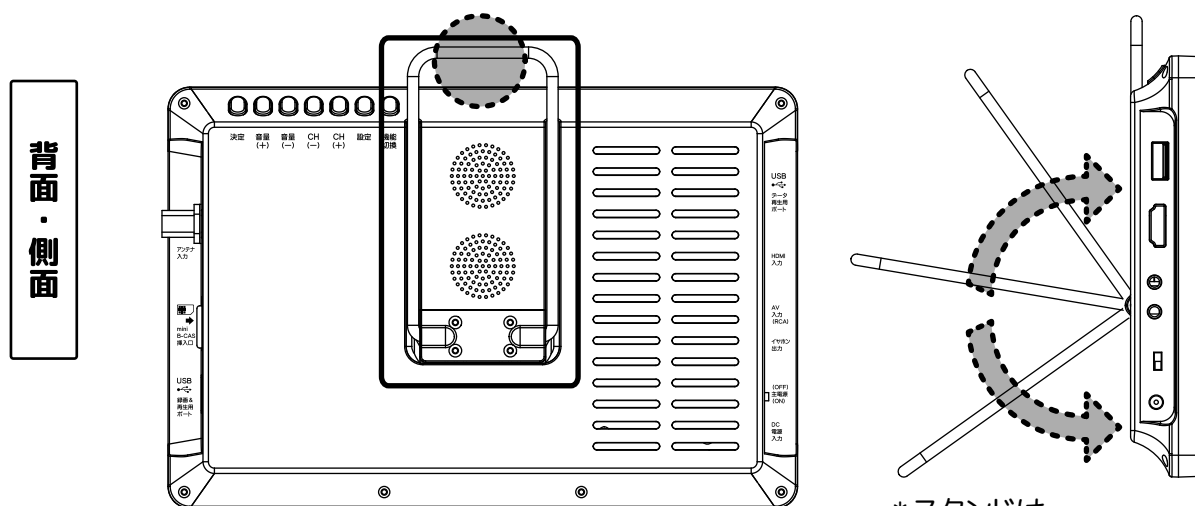
◎ご視聴前の準備

- ご視聴までに必要な流れは以下の通りです。（設置・接続・設定など）



機器の設置

◎機器背面部のスタンドを利用して好みの場所に設置してください



- 部分からスタンドを引き出します
（据置き設置の場合は好みの角度に調整してください）
（吊り下げ設置の場合は上部まで引き上げてください）

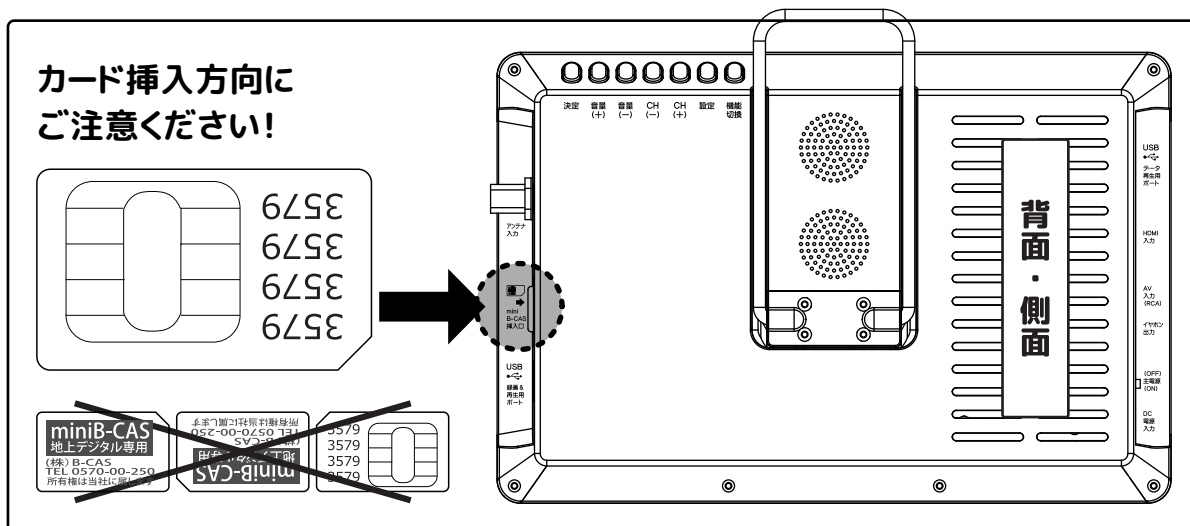
* スタンドは
上下に動きます

⚠ ご注意（ご確認）ください

- ※ 極端に温度や湿度が高い（または低い）場所への設置は行わないでください。故障や変形などの原因となる場合があります。特にお車でご利用される場合、極所に放置等にご注意ください。
- ※ お車でご利用の場合、運転中の操作や視聴は事故などの原因となる場合があります大変危険ですので絶対に行わないでください。

B-CAS カードの準備

■地デジ放送をフルセグサービスで視聴する場合、B-CAS（miniB-CAS）カードの常設が必須です。下図ご参照の上、正しく装着してください。



- ① 付属品として同梱されている「miniB-CAS カード」を台紙から取り出します。
- ② 本体背面を見て左側端子部ある miniB-CAS 挿入口を確認します。
- ③ 図を参照に「端子面が見える」「角欠け部分が下を向く」方向に真っすぐに押し込みます。（奥まで入ると「カチッ」と音が鳴りカードが固定されます）

（注）誤った方向に差し込むとカードや機器が故障する場合があります。
カードの挿入方向を間違えないようにご注意ください。

- ④ カードを取り出す場合、カード中央部をツメなどで押し込みます。
（バネの力で押し戻されてカードが排出されます）

（注）カードの取付けや取り出しの際は急に手を離さないでください。
内部のバネの力でカードが飛び出して紛失する恐れがあります。



（参照）B-CAS カードの取扱いに関する詳細はカード封入用紙をご確認ください。
B-CAS カードの破損・故障・紛失などに関するお問合せ先は下記の通りです。
（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステム / B-CAS カスタマーセンター
TEL：0570-000-250

⚠️ ご注意（ご確認）ください

※地上デジタル放送サービスにはフルセグ放送サービスとワンセグ放送サービスがあります。
フルセグ放送サービスをご視聴される場合「B-CAS カード（付属品）」の取付けが必要です。

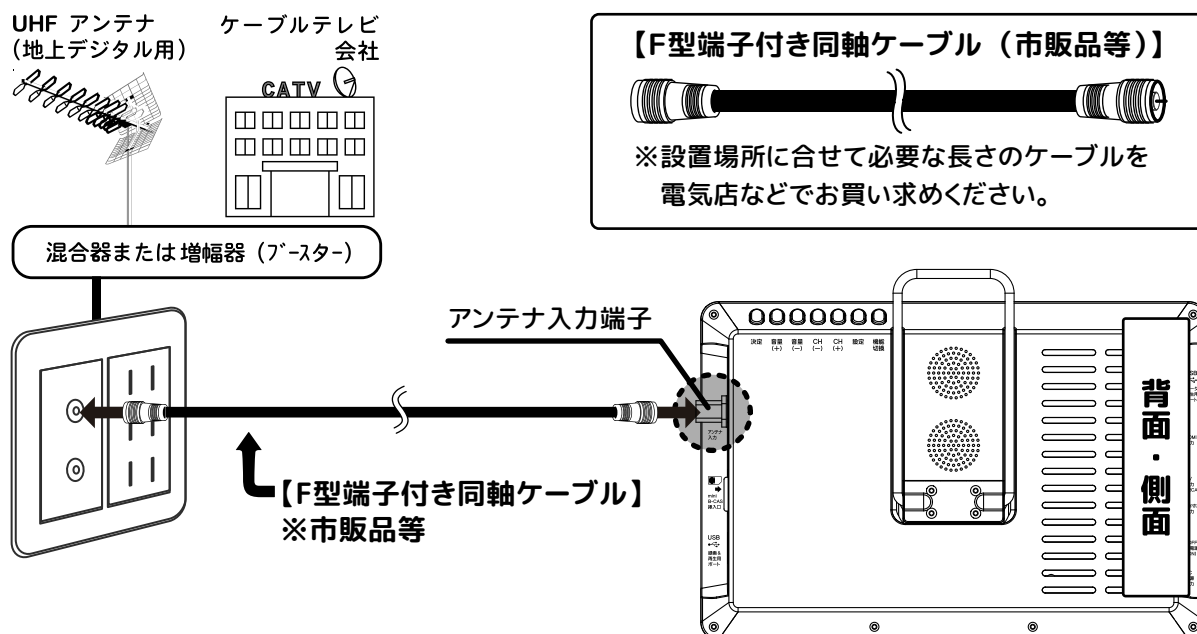
アンテナの準備

■地デジ放送受信用アンテナとの接続

- 地デジ放送サービスのご視聴には受信用アンテナとの接続が必須です。
各端子の形状などに注意して正しく取り付けてください。

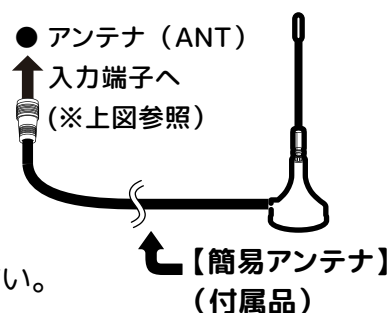
(1) 放送局の登録設定を行う場合 (P15 ～) / 屋内などでご視聴される場合

- 室内用の受信力の高いアンテナと本機を『F型端子付同軸ケーブル (下図)』を利用して接続してください。



(2) 屋外などでご視聴される場合 (簡易アンテナ (付属品) の利用)

- 付属品のアンテナは簡易的なものです。
ブースター (電波増幅装置) 等は内蔵されていない為、屋内・地下・山間部等の電波が微弱な場所
ではご視聴いただけない場合があります。この場合
(1) の通り、受信力の強いアンテナと接続してください。



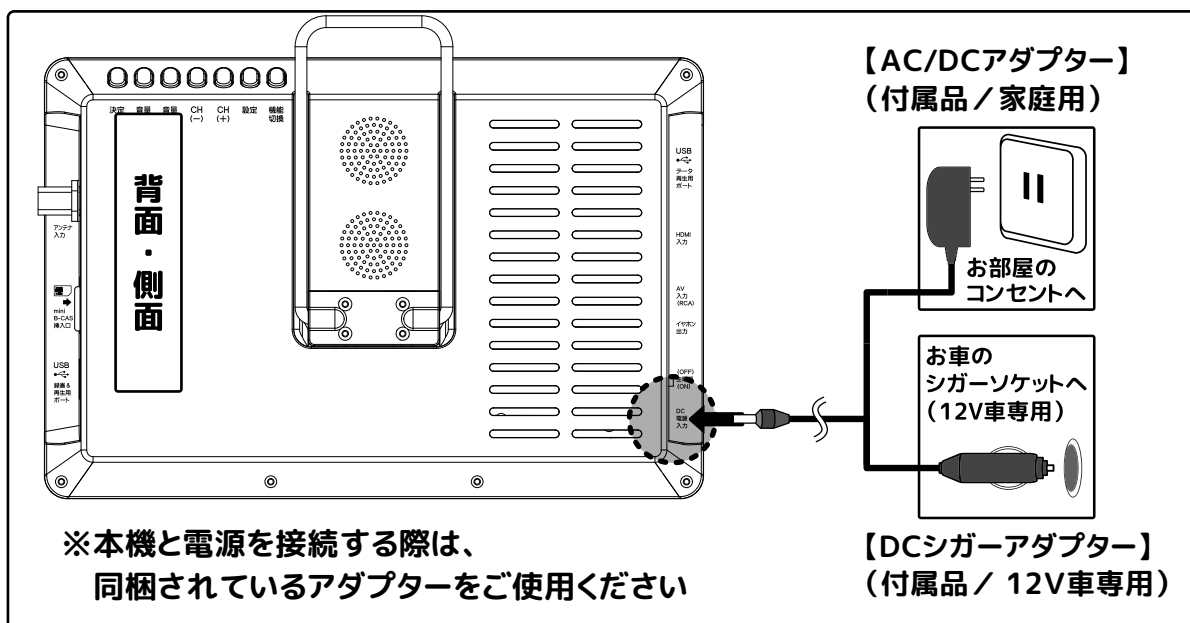
⚠ ご注意 (ご確認) ください

- ※本機は一般的な UHF アンテナとの接続により地デジ放送をご視聴いただけます。
CATV (ケーブルテレビ) で伝送されている場合や共聴システムで伝送されている場合、伝送方式によってはご視聴いただけない場合があります。詳しくはお住まい地域の CATV 会社や共聴システムの管理者 (マンション管理者など) にお問合せください。
- ※アンテナ線を他の電気機器等に近接しないでください。受信障害の原因となる場合があります。
- ※付属品アンテナを利用した場合、他の機器 (携帯電話やラジオなど) でTV視聴ができる場所でも、本機でご視聴ができるとは限りません。予めご了承ください。

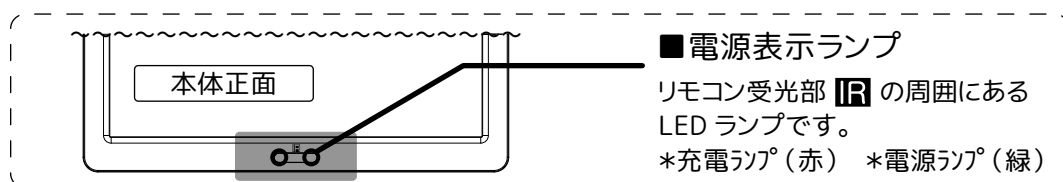
電源の準備

◎ 電源の接続

- ① 本体の主電源がオフ（切）であることを確認します。
- ② 本体側面端子部にある「電源入力端子」と「電源アダプター（AC 又は DC）」と「電源（コンセントやシガーソケット）」をそれぞれ接続します。



- ③ 電源を接続して本機に正しく通電されると、充電表示ランプが赤色に点灯します。
（充電中：点灯／満充電時：消灯）
- ④ 通電確認後、本体側面端子部にある「主電源スイッチ」をオン（入）にします。
（電源表示ランプ（緑）が点灯して本体が起動します）



⚠ ご注意（ご確認）ください

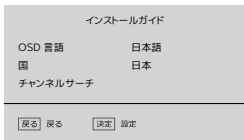
- ※各端子やケーブルとの接続は、本体の主電源がオフ（切）の状態で行ってください。
- ※AC アダプターは必ず付属品のものをご使用ください。
- ※車載用 DC シガーアダプターは「12V」車専用です。24V バッテリー車等では使用できません。
（アダプターや本体に過度の電圧がかかり故障や破損の原因となる場合があります）
- ※車載用 DC シガーアダプターはお車のエンジンをかけた状態で取付けてください。
（シガーアダプターを接続したままエンジンをかけると、スタート時に過度な電圧がかかり故障や破損の原因となる場合があります）
- ※エンジン停止中は車載用 DC シガーアダプターをお車のプラグから外してください。
（お車のバッテリーを消耗し続け、残量低下などの原因となる場合があります）

放送局（CH）の登録

◎お買い上げ初期時やお引っ越し等により設置地域を移動した場合、その場所で視聴ができる放送局の登録が必要です。



〈システム起動中画面〉
画面表示が切り換わるまで
しばらく待ちます



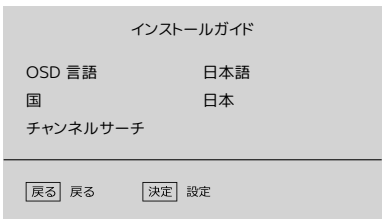
〈インストールガイド〉の場合、
「決定」ボタンを押します。
(CHサーチを開始します)



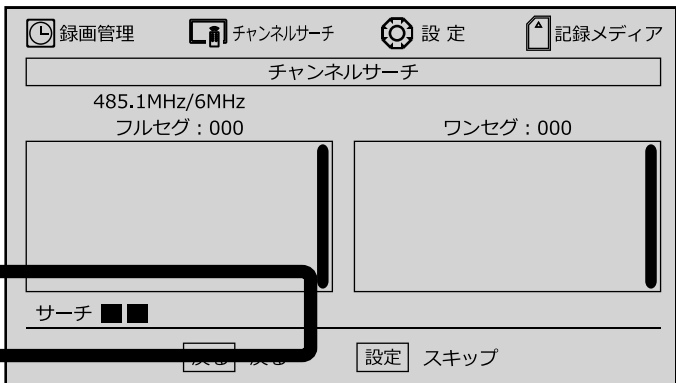
〈CHサーチ〉開始の場合、
スキャン終了までそのまま
お待ちください。

- ① 主電源をオン（入）にして画面表示（上図）を確認します。
- ② 〈インストールガイド〉が表示された場合はガイド項目を確認します。
確認後にリモコン（または本体）の「決定」ボタンを押します。
- ③ 登録可能な放送局の自動検索（チャンネルサーチ）が終わるまで暫く待ちます。
- ④ 放送局の検索／登録が終わると、登録された番組放送が始まります。

（参照）CH検索～登録設定の流れ



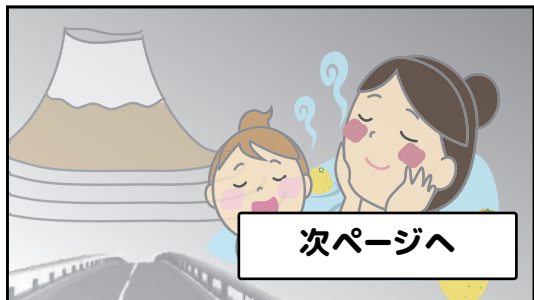
※インストールガイド表示の際は
「決定」ボタンで次へ進みます



※CH検索中は上記枠内のメモリが左から徐々に増えていきます。
検索が終了するまで暫く時間がかかりますのでお待ちください。

※アンテナが放送局を受信できた場合、
放送サービス（フルセグ／ワンセグ）ごとに振り分けて自動で登録していきます。





次ページへ

放送局（CH）の登録

◆ 放送局が登録された場合 ◆

- ※CHサーチ終了後、登録された番組放送が自動で始まります。
- ※受信レベルに応じた放送サービス（フルセグ又はワンセグ）で表示されます。（放送サービスの優先度の設定については P.25をご参照ください）



■ 登録局の確認（チャンネルリスト）

番組放送中に「決定」を押すと登録放送局のリストが表示されます。リストに表示されていない放送局はご視聴いただけません。登録漏れなどをご確認ください。

※リスト表示中の操作

「◀▶」：ワンセグ⇄フルセグのサービス切換え

「▲▼」：登録局選択タグの移動 「決定」：視聴チャンネル切換え

◆ 登録が失敗した場合 ◆

- ※放送局の電波が正しく受信されずにCH登録が失敗した場合は画面表示が『インストールガイド』に戻ります。
- 下記をご確認の上、再度チャンネルサーチを行ってください。

■ テレビ受信に必要な各接続の確認（アンテナ／B-CAS／電源）

■ アンテナの状態の確認（設置場所や方向・CATV等の場合は伝送方法など）

■ アンテナ受信レベルの確認（P.17 参照）

（注）屋根に設置されたアンテナの交換や方向調整などの作業は危険を伴いますので、電気店やアンテナ設置専門業者等にご相談ください。
集合住宅などの共同アンテナでブースターや減衰器などを増設する場合、他の部屋に影響がでる可能性がありますので、事前に管理者等とご相談ください。

⚠️ ご注意（ご確認）ください

- ※本機は一般的な UHF アンテナとの接続により地デジ放送をご視聴いただけます。
インターネット回線との接続による受信環境には対応しておりませんので予めご了承ください。
- ※CATV（ケーブルテレビ）会社や共聴システム等で伝送されている場合、伝送方式によっては本機ではご視聴いただけない場合があります。詳しくはお住まい地域（又はご契約）の CATV 会社や共聴システムの管理者（マンション管理者など）にお問合せください。
- ※チャンネル登録作業や屋内等でのご利用の際は「受信力の強いアンテナ」との接続を強く推奨しております。付属品アンテナを利用した場合、「放送局が登録できない」「受信が安定しない」などが起こる場合があります。
- ※付属品アンテナを利用した場合、他の機器（携帯電話やラジオなど）でTV視聴ができる場所でも、本機でご視聴ができるとは限りませんので予めご了承ください。
- ※受信力が高いアンテナ（共同アンテナなど）と接続してCH登録や視聴ができる場合は機器本体（TVチューナー）の故障ではありません。テレビ番組の視聴には「設置場所の電波環境が安定している」「アンテナが電波を正しく伝送できる」の条件が必要です。「付属品アンテナで視聴ができない」などのお問合せは対応いたしかねますので予めご了承ください。

◎アンテナ受信レベルの確認

- 本機と接続したアンテナの受信レベルが低いと「映像が止まる（チラつく）」「音声がでない（途切れる）」「フルセグで視聴できない」などの事象が起きる場合があります。下記操作手順でアンテナ受信レベルの確認が可能です。

番組視聴中に「情報表示」を2回押すと受信局情報(下図)が表示されます



※受信レベルが低い（約 20%以下）の場合やレベルが安定しない場合、本機と接続したアンテナの受信レベルが低い為、安定したご視聴が難しい状態です。アンテナ側の状態などをご確認ください。

※付属品の簡易アンテナをご利用されている場合、受信レベルが 30 ～ 40%以上で安定する場所を探してアンテナ部分を設置してください。（推奨受信レベル：50%以上）

※放送サービスの優先度が「自動切替」又は「フルセグ固定」に設定されている場合、受信レベルが低い場所では「画面のフリーズ」「音声がでない」などの事象が起きる場合があります。（優先度の変更は P.33 をご参照ください）

⚠️ ご注意（ご確認）ください

- ※アンテナが正しく接続されていない場合、受信（視聴）はできません。
- ※建造物内、地下、トンネル、移動中の乗り物内、電波塔が無い（又は遠い）地域、地形、強力な電波を発信する施設の周辺、電波障害を受けやすい場所、その他電波の受信に影響を及ぼす場所などでは受信（視聴）できない場合があります。
- ※デジタル放送は受信レベルが低下すると「映像が止まる（乱れる）」「ブロックノイズが出る」「音声がでない（途切れる）」など様々な事象が起こる場合があります。
- ※次の放送は受信（視聴）できません。
〈アナログ放送〉〈BS/CS 放送〉〈データ放送〉〈緊急警報放送〉
- ※放送エリアの目安は、社団法人デジタル放送推進協会のホームページをご参照ください。
- ※その他の不具合症状などが起きた場合、巻末のトラブルシューティングをご参照ください。

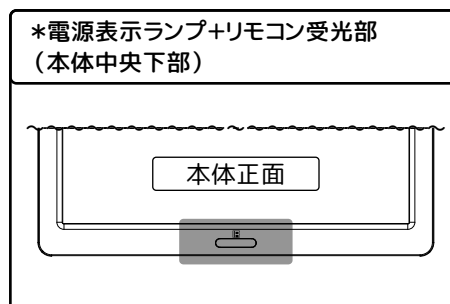
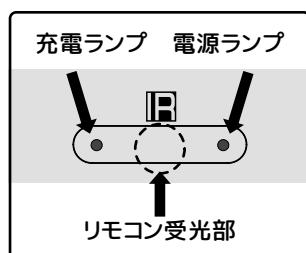
充電電池について

◎充電電池について

本機にはリチウムイオンポリマー電池（Li-po）が内蔵されております。
内蔵電池に充電済みであれば電源がない場所でもご使用が可能です。

◎充電方法

- 本書 P.14（電源の準備）を参照の上、本機と電源を正しく接続します。
本機に正しく通電されると表示ランプが点灯して充電が開始されます。
（電源表示ランプの状態は下記参照）



■ 電源表示ランプの状態

- * 充電ランプ（赤）：充電中は点灯／満充電時は消灯します
- * 電源ランプ（緑）：主電源オン（入）で点灯します

◎充電時間

充電電池の電気が完全放電された状態から本体主電源オフ（切）状態で充電を開始した場合、満充電までの時間はおおよそ約 4 時間程度かかります。

* 上記記載の時間はおおよその目安です。使用環境や頻度等により異なりますのでご了承ください。

⚠ ご確認ください

- ※お買い上げ初期時の充電電池は満充電状態ではありません。
 - ※充電電池はその特性上、高温時および低温時での充放電において容量が低下いたします。
 - ※ご家庭で充電する場合、必ず当機専用 AC アダプター（付属品）をご使用ください。
 - ※お車で充電される場合、「DC12V 車である」ことをご確認の上、当機専用車載用 DC シガーアダプター（付属品）をご使用ください。またお車のエンジンをかけた状態でご使用ください。
 - ※充電に要する時間や充電電池による駆動時間は使用環境や方法などにより変化します。また充電後の駆動時間は、お客様の環境や再生頻度・再生方法等に依存しますことをご了承ください。
 - ※充電電池は消耗品につき寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれ充電電池の容量は少しずつ低下します。駆動時間が大幅に短くなった場合は、電池寿命とされますので、カスタマーセンターまでお問合せください。（電池寿命の目安：充放電回数 約 500 回前後）
- （注）充電電池は消耗品につき無償保証の対象外です。電池の交換は有償による対応となります。

- （重要） 電池寿命が近い状態で更に充放電を繰り返すと、リチウム電池の特性上、異常な発熱や膨張が起こる場合があります。このような場合は電源から本体を外し機器の使用を止めてください。
- （重要） お客様ご自身による本体の開封や電池交換は大変危険ですので絶対に行わないでください。万一お客様により本体の開封等が行われた場合、理由を問わず無償保証の対象外となります。
- （推奨） 満充電になったら「電源」「アダプター」「本機」を全て外すことを推奨いたします。

テレビを視聴する

◎当項目では機器の基本的な使い方操作や機能などをご案内いたします。

基本的な使い方 (P.19)

電子番組ガイド (EPG) の利用 (P.21)

基本的な使い方

電源を入れる／切る（電源オン／オフ操作）

- 電源から機器への通電の入切操作は、本体側面にある「主電源スイッチ」でのみ切り換えができます。（リモコンでは通電オン／オフの操作はできません）
 - リモコンは本体の主電源スイッチがオン（入）状態でのみ操作が可能です。
- ※ リモコンで電源をオフにした状態は〈スリープ（待機）状態〉です。

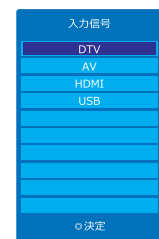
⚠ ご注意（ご確認）ください

※以下項目で記載する『ボタン』の名称（「●●」）は、主に『付属品リモコン』のボタン名称を記載いたします。お手元に付属品のリモコンをご用意の上、ご参照ください。

テレビ視聴モードを選ぶ（入力ソースの切換）※P.29 参照

- 「機能切換」 ボタンを押すと〈モード切換タグ〉が表示されます。
- 「▲/▼」 ボタンでソースを選び「決定」 ボタンで切り換えます。
- （地デジ放送を視聴する場合は DTV を選択します）

〈モード切換タグ〉

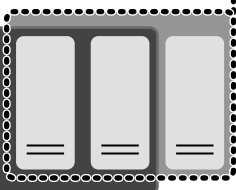


視聴チャンネルの切換（選局する）

- 「CH+/-」 ボタンを押すと登録局の主番号 * 順にチャンネルが切り換ります。
- * 〈主番号〉とはCH番号（3桁）の下1桁の数字が1の番号を示します（例：051 / 081 など）
- 「数字」 ボタン（2桁）を押すと指定チャンネル（主番号）に切り換ります。
 - 番組視聴中に「決定」 ボタンを押すとチャンネルリスト（P.16）が表示されます。
- 「▲/▼」 ボタンでリスト内のCHを選び「決定」 ボタンで切り換ります。
- ※チャンネルリスト表示中の「◀/▶」 ボタンは放送サービスの切換（フルセグ／ワンセグ）

チャンネル番号（3桁）……

リモコン
入力番号
（2桁）



（操作例）

【021】を選局する場合、

- ① 数字ボタン「0」「2」の順に押す
- ② 「CH+/-」 で切り換える

【023】を選局する場合、

- ① 「決定」 でチャンネルリストを表示
- ② 「▲/▼」 で023にカーソルを移動
- ③ 「決定」 で選局されます



基本的な使い方

音量の調節／消音

- 音量の調整：「音量+/-」ボタンで音量を調節します。
- 消音（ミュート）：「消音」ボタンを押すと消音状態（音量0）に切り換えます。
もう一度「消音」を押すと消音操作前の音量で出音します。

字幕／音声の設定切換

- 字幕の設定：「字幕」ボタンで字幕のオン／オフを切り換えます。
- 音声の設定：「音声」ボタンで音声の設定を切り換えます。
「▲▼◀▶」で（主）（副）（主+副）を選択後、「決定」で確定
選択を確定してから「戻る」で番組視聴に戻ります。

※字幕／音声の設定はご視聴される番組によって操作や設定ができない場合があります

視聴番組の情報表示

- 番組をご視聴中に「情報表示」ボタンを1回押すと番組の簡易情報を表示します。
※簡易情報はしばらくすると消えます



- 簡易情報を表示中に、もう一度「情報表示」を押すと受信局の詳細情報が表示されます。
※★項目はワンセグサービス視聴時は「スキャン中」と表示されます



電子番組ガイド (EPG)

電子番組ガイドに関する詳細は P.21 をご参照ください。

録画に関する機能や操作

録画に関する詳細は P.22 ～をご参照ください。

機器や DTVe-トの設定

設定や調整に関する詳細は P.32 ～をご参照ください。

電子番組ガイド（EPG）の利用

電子番組ガイド（EPG）の見方

- 番組視聴中に「EPG」ボタンを押すと番組ガイドが表示されます。（下図参照）



- 番組ガイド表示時のリモコン操作：

- *[◀][▶]：視聴（表示）チャンネルの切換え
- *[決定]：カーソルで選択した番組の録画を予約
- *[黄][青]：カーソルで選択した番組の情報ページ（画面右側）を切換え
- *[情報表示]：録画予約した番組のリストを表示
- *[▲][▼]：画面左側のカーソル移動
- *[赤][緑]：画面左側のページを切換え
- *[戻る]：前の操作に戻る

⚠ ご注意（ご確認）ください

- ※番組ガイドの取得および画面表示には時間がかかる場合があります。（特にチャンネルサーチを行った後のガイドの取得や表示には時間がかかる場合があります）
- ※番組の中止 / 変更 / 延長等により実際の放送内容とは異なる場合があります。

電子番組ガイドから録画を予約する

- ①「EPG」ボタンでガイドを表示します。
- ②「◀/▶」で録画する放送局に切り換えます。
- ③「▲/▼/赤/緑」で録画を予約する番組にカーソルを合せ「決定」を押すと〈イベント追加〉画面に切り換ります。
- ④ 各表示項目を確認の上、「決定」を押すと予約が設定され、〈予約リスト〉が表示されます。



⚠ ご注意（ご確認）ください

- ※録画機能を利用する場合、本機以外に記録用メディア（市販のUSBメモリーなど）が必要です。
- ※番組ガイドから録画予約を設定した後に、放送局の都合により番組放送時間の延長（中止）されても予約設定の自動変更は行われません。予約リストから手動で予約設定を編集してください。

「録画」に関する機能や操作

◎当項目では録画機能に関連する基本操作や機能などをご案内いたします。

録画機能について (P.22)

録画用メディアの準備 (P.23)

録画に関する機能の利用 (P.25)

録画機能について

録画機能をご利用いただく前に下記をよくお読みいただき正しくご理解の上でご利用ください。

- 本機は〈シングルチューナー〉搭載機です。裏番組録画機能（視聴中の番組以外の番組を録画する機能）はありません。
- 本機には記録用メディア（メモリー／ディスク）は内蔵されておりません。録画に関する機能をご利用される場合、別途市販のメディアをご用意ください。
（本機でご利用可能なメディアの仕様については P.23 をご参照ください）
- 録画用として利用するメディアは、事前に「試し録画」を行い、動作の確認を行ってください。
- 録画したデータは MTS ファイル（拡張子 .mts）としてメディアに記録されます。
- 録画機能は入力ソースが〈DTV（テレビ）モード〉でのみご利用可能です。録画機能ご利用時は入力ソースを変更しないようご注意ください。特に録画予約を設定している場合、他のモード利用中に予約時刻がきてもソースは自動変更されない為、録画できません。
- 録画中に入力ソースを〈DTV〉以外に切り換えた場合、録画は途中で強制終了します。
- 録画中は他のチャンネルに切り換えられません。
- 何らかの理由（主電源が切れる・受信波が途切れる、など）で録画が中断した場合、データが破損して再生できない場合があります。
- 番組ガイドは約8日後まで取得できます。番組ガイドで表示されない先の日付を予約する場合、指定録画で日付指定を行ってください。
- 同じ時間帯に重複した番組を録画することはできません。
- 本機で録画したデータは本機以外の機器で視聴（再生）できません。
- コピー禁止の番組や、外部機器（DVD プレーヤーなど）からの入力データを録画（記録）することはできません。録画は本機で受信したテレビ放送番組のみ可能です。
- 著作権保護の為、本機で録画したデータの移動やコピーは行わないでください。
- 故障などの理由で本機を修理（交換）した場合、以前記録したデータは視聴できなくなる場合がありますので予めご了承ください。
- 本機で録画したデータは、〈個人または家庭内その他これに準ずる限られた範囲〉内でお楽しみいただく以外には、著作権法上、権利者に無断で使用はできません。また、同範囲内でお楽しみいただく以外に、許諾なく複製や改変を行ったりインターネットなどで送信や掲示を行うことは著作権法上禁止されています。以下の行為についても原則として著作権法上保護された権利の侵害となりますのでご注意ください。
 - ・ 録画した番組を自身のホームページや SNS 等に掲載する／メールなどで他人に送る
 - ・ 録画した番組を営利目的で不特定多数へ貸し出す
- 著作権法に違反した場合、刑事処罰を受ける場合もあります。自己責任のもとでご利用ください。
（著作権法違反により生じた損害などに関し当社は一切の責任を負いません）

録画用メディアの準備

本機でご利用いただけるメディア（メモリー／ディスク）

◎録画に関する機能をご利用いただく場合、別途データ記録用メディア（USB メモリーや HDD など）が必要です。お買い求めの際はメディアの仕様にご注意ください。

● USB（Type-A）接続可能なメディア（フラッシュメモリー・外付 HDD※ など）

*標準規格：USB2.0

*推奨容量：～ 500GB

※外付 HDD（ハードディスク）は『電源供給型』のものを推奨

⚠ 大容量のメディアをご利用される場合

※本機でご利用可能なメディアのファイルシステム形式（フォーマット）は【FAT32】又は【NTFS】です。その他の形式にフォーマットされたもの（FAT16/exFAT など）は正しく認識されません。市販品などをご用意いただく際は、仕様のご確認をお願いいたします。

容量と録画時間の目安

※放送番組のデータ量などにより変化します

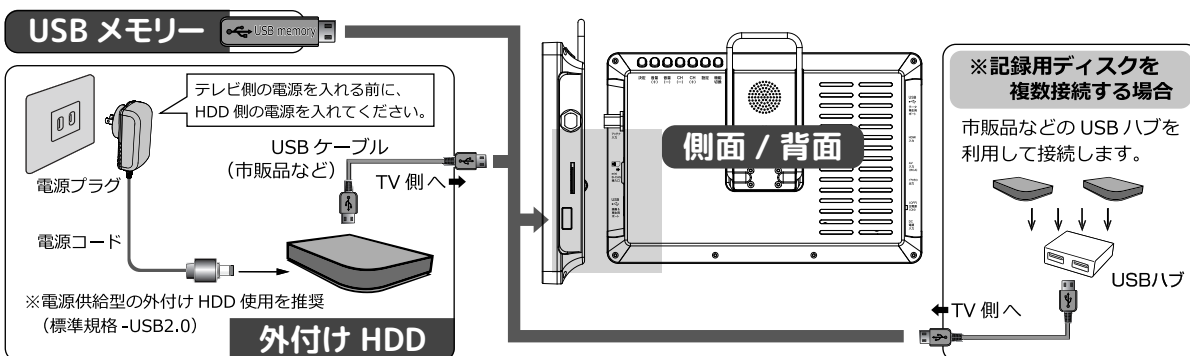
フルセグ
録画

番組データ1秒あたり 約 1.70MB の場合 ≡ 容量 1GB あたり約 10 分間録画
空き容量 15GB のメディアでは、約 2.5 時間分の録画が可能

ワンセグ
録画

番組データ1秒あたり 約 0.04MB の場合 ≡ 容量 1GB あたり約 7 時間録画
空き容量 15GB のメディアでは、約 100 時間分（4日分）の録画が可能

メディアを取り付ける



（ヒント）● USB ハブを利用すると同時2台までのメディアを接続できます。

● メディアをフォーマットする時は必ずテレビと1対1で接続してください。

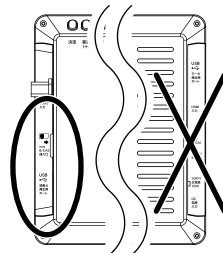
● メディアの容量は 500GB までのものを推奨しております。

⚠ ご注意（ご確認）ください

※録画用スロットに正しく接続してください。

（データ再生用スロットに接続しても「録画機能」は利用できません）

※パソコンやその他機器で利用していたメディアを再利用する場合、ご利用前に他のメディア等にデータのバックアップをとることを強く推奨いたします。

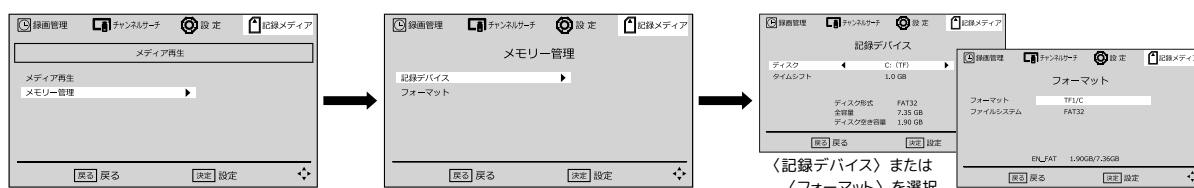


録画用メディアの準備

録画用メディアの設定／確認／フォーマット

◎〈録画用スロット〉に取付けたメディアの状態の確認やフォーマットの操作方法

- ①「設定」ボタンを押して設定メニューを表示します。
- ②「◀/▶」でカーソルを〈記録メディア〉に合せてます。
- ③「▲/▼」でカーソルを〈メモリー管理〉に合せて「決定」を押します。
- ④「▲/▼」で〈記録デバイス〉〈フォーマット〉を選択して「決定」を押します。



④-1：〈記録デバイス〉を選択してメディアの設定や状態を確認する



1. ディスク項目で録画用として利用するメディアを確認
(複数メディアを接続している場合は「◀/▶」で選択)
2. 太枠部分に表示されたメディアの状態を確認する
3. 「決定」で録画用のディスクを設定します

(ヒント) ＊〈記録デバイス〉画面内のタイムシフトについては P.27 をご参照ください。

＊メディアが正しく認識されていない場合、「太枠部分の表示が実際の仕様と表示が違う」
「メモリーデバイスがありません」などと表示されます。

④-2：〈フォーマット〉を選択してメディアをフォーマットする



1. フォーマットを行うメディアを確認
(複数メディアを接続している場合は「◀/▶」で選択)
2. 太枠部分に表示されたメディアの状態を確認する
3. 「決定」を押すと最終確認が表示されます
(確認表示後「決定」：実行／「戻る」キャンセル)

⚠ ご注意 (ご確認) ください

- ※【FAT32】【NTFS】以外のフォーマット形式のメディアは正しく認識されません。
- ※録画機能のご利用前に、取付けたメディアの空き容量をご確認ください。
(空き容量が少ない場合、録画の予約設定はできません)
(予約時刻になった時の空き容量が少ない場合、予約はキャンセルされます)
(ディスクの空き容量が 10MB を切った場合、録画に関する機能の利用ができなくなります)
- ※フォーマットを実行するとメディア内の保存データは全て消去されます。
フォーマット実行前に他のメディア等にデータのバックアップをとることを強く推奨いたします。
(データの破損や消去による損害などについて当社は一切その責任を負いません)

「録画」に関する機能の利用

録画の設定の優先度

【予約】録画



【ダイレクト】録画

※タイムシフト機能（P.27）を含む

- 〈予約録画〉は日時指定録画および番組表録画で予約設定を行ったものを指します。予約設定した日時や番組は〈予約リスト〉から確認や編集が可能です。

（ヒント）予約録画を設定すると、その予約が最優先の設定となります。設定した日時になると、「ダイレクト録画」での録画中やタイムシフト機能の利用中でも、自動的に予約した番組に切り換わり、予約録画が始まります。

※但し録画用メディアの空き容量が無い（又は少ない）場合は録画できませんのでご注意ください。

視聴中の番組を録画する 《ダイレクト録画》

- ① 番組視聴中に「録画」ボタンを押します。
- ② 中央に「レコーダー開始中、お待ちください」と表示され、システム起動後に録画が始まります。
- ③ 録画を停止する場合「設定」または「停止」を押します。



（ヒント）・録画用メディアの空き容量が足りない場合、
「ディスク容量が満杯です、お待ちください」と表示され録画できません
・録画が始まると、画面左上に【録画中】と点滅表示されます。

日時を指定して録画の予約を設定する 《日時指定録画》

- ① 「設定」ボタンを押して〈DTV 設定メニュー（P.33）〉を画面に表示します。
- ② 「▲/▼/◀/▶」を利用して上段のカーソルを〈録画管理〉に下段のカーソルを〈指定録画〉に合せてから「決定」を押します。（イベント追加へ移行）
- ③ 「▲/▼/◀/▶/ 数字」を利用して録画するチャンネルや日時を入力します。
入力を確認後「決定」を押すと予約が確定され、〈予約リスト〉が表示されます。



（ヒント）●番組視聴に戻る場合は「戻る」 ●続けて別の予約を行う場合は「赤」
●予約リスト上の予約を編集する場合はカーソルを移動させてから「緑」
●予約リスト上の予約を削除する場合はカーソルを移動させてから「青」

「録画」に関する機能の利用

番組ガイドから録画の予約を設定する 《番組表録画》

- ① 番組視聴中に「EPG」ボタンを押します。
- ② 「▲/▼/◀/▶/ 赤 / 黄」で予約する番組名にカーソルを合せてから「決定」を押します。（イベント追加へ移行）
- ③ 表示を確認後「決定」を押すと予約が確定され〈予約リスト〉が表示されます。

（ヒント）〈設定メニュー〉→〈録画管理〉→〈番組表録画〉から同表示や設定が可能です。



⚠️ ご注意（ご確認）ください

※番組ガイドから予約を設定した後に、放送時間の延長や中止などが起こった場合、本機では自動的に録画時間の延長や予約の中止などは行われませんので予めご了承ください。

（例）

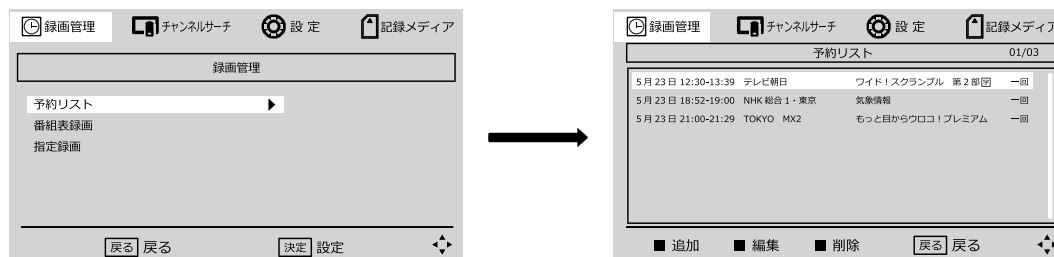
「〇〇放送局の（A）番組（※放送予定 10:00 ～ 11:00）」を番組ガイドから予約を設定した
→（A）の直前の番組（B）が急遽 30 分延長となり、（A）は 10:30 から繰り下げ放送となった

上記例の場合は（B）30 分 + （A）30 分となり、（A）の残り 30 分は録画されません。
本機では〈予約リスト〉の通りの録画（〇〇放送局の放送を 10:00 ～ 11:00）となります。

設定した予約の確認や編集 《予約リスト》

■ 予約リストを表示する

- ① 「EPG」→「情報表示」
- ② 「設定」→〈録画管理〉→〈予約リスト〉



■ 予約リストから確認や編集を行う（主なボタン操作）

- 「赤」：予約リスト外の予約設定の追加
- 「緑」：カーソル選択した予約設定を編集
- 「青」：カーソル選択した予約設定を削除
- 「▲/▼」：カーソル移動
- 「戻る」：一つ前の画面に戻る

「録画」に関する機能の利用

〈タイムシフト〉を利用する

◎本機には録画関連の付加機能として〈タイムシフト〉機能があります。

- 番組視聴中に「タイムシフト」を一度押すと、
「画面表示は放送を一時停止」「押した場面からメディアに録画」を同時に行います。
→ この状態で「タイムシフト」を再度押すと、メディア側の再生に切り換わり、
「一時停止した放送の続きからの視聴」と感じられる便利機能です。

こんな場合に
とても便利な
機能です!!

- * 好きな番組を視聴中に「ちょっと用足しに行かないと ...」
- * ドラマなどのクライマックスシーンで「宅配便で～す!？」

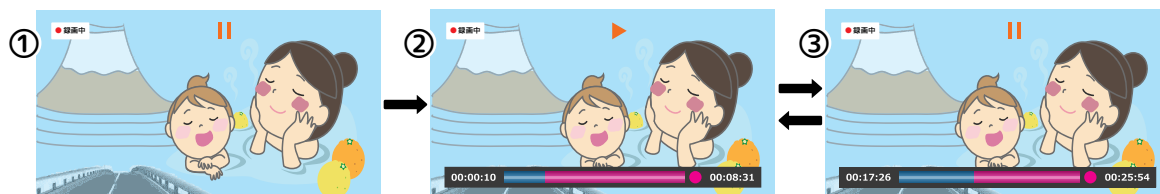
「タイムシフト」ボタンを押して機能スタート!

●当機能のご利用では「タイムシフト」「停止」「決定」「戻る」のボタンを使用します。

◎〈タイムシフト〉利用前の設定準備 ※録画用メディアの容量を設定します。

- ①「設定」→〈記録メディア〉→〈メモリー管理〉→〈記録デバイス〉→〈タイムシフト〉
- ②「◀/▶」ボタンでタイムシフト機能に割り当てるメディアの容量を選択します。
(0.5GB / 1.0GB / 1.5GB / 2.0GB / 2.5GB / 3.0GB / 3.5GB / 4.0GB から選択)

■ 番組視聴中に「タイムシフト」ボタンを押すと ...



- ① 番組視聴中に
ボタンを押すと ...
 - ・一時停止状態になります
 - ・左上に『録画中』が表示されます
 - ・右上に『一時停止マーク』が表示されます
- ② ①の状態、
ボタンを押すと ...
 - ・一時停止箇所から再生が始まります
 - ・左上に『録画中』が表示されます
 - ・右上に『再生マーク』が表示されます
 - ・下部に『P/R ステータスバー (P.28)』が表示されます
- ③ ②の状態、
ボタンを押すと ...
 - ・データ再生を一時停止します
 - ・左上に『録画中』が表示されます
 - ・右上に『一時停止マーク』が表示されます
 - ・下部に『P/R ステータスバー (P.28)』が表示されます

■ 〈タイムシフト〉機能を終了して番組視聴へ戻る場合は「停止」→「決定」ボタンを押します。

「録画」に関する機能の利用

P/R(再生/録画) ステータスバー 〈タイムシフト機能〉

一時停止/再生 時間表示 00:00:10 使用容量表示バー 00:08:31 タイムシフト録画 トータル時間表示

【トータル時間表示】 TS録画機能スタートからの経過時間を表示します。

【一時停止/再生時間表示】

機能スタートから何秒（分/時間）後に一時停止したか（又は再生しているか）の時間を表示します。

【使用容量表示バー】

TS機能に割り当てたメディア容量の中で、使用中の領域（赤）と空き領域（青）をバーで表示します。

（ヒント）例えば一時停止状態でそのまま放置した場合（赤）が増えて（青）が減っていきます。
空き領域（青）が無くなるとタイムシフト録画は停止します。

録画データの再生や削除 《録画リスト》

■ 録画リストを表示する : 「録画リスト」 ボタンを押します。

■ 録画リストから確認や削除を行う（主なボタン操作）

「▲/▼」: カーソル移動

「決定」: カーソル選択したデータを再生

「タイムシフト」: 再生データの一時停止→再生

「停止」: 再生データの停止

「◀◀/▶▶」: 早戻し/早送り

(x2→x4→x8→x16→x32→解除←)

「|◀◀/▶▶|」: 前/次のデータへスキップ移動

「設定」: 一つ上のフォルダへ移動

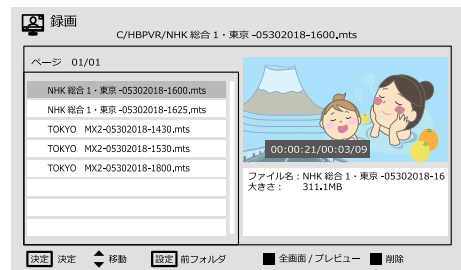
「戻る」: 番組視聴に戻る

「赤」: 画面サイズの切替（全画面⇄プレビュー表示） 「緑」: コマ送り再生

「青」: データの再生開始時間の設定（Go to time 機能※）

※ Go To Time 機能: 録画データのスタート時間を指定して移動する機能です

（例）録画時間 1 時間のデータで、「40 分 10 秒後」にスタート時間を指定して移動



録画データの削除

■ 録画リスト内の削除するデータにカーソルを合わせ「黄」を押します。

※「黄」を押すとデータ名の左側に ☒ マークが付きます

→ 「決定」を押すと削除するかどうかの確認が表示されます（決定/戻る）

→ 決定を選択して再度「決定」を押すとデータが削除されます

※一度削除したデータを復元することはできません。削除する前にデータの確認を行ってください。

付加機能を利用する

◎当項目ではテレビの視聴以外のご利用方法なをご案内いたします。

外部機器の接続 / 入力ソース切換 (P.29)

メディアプレーヤーソフト (P.30)

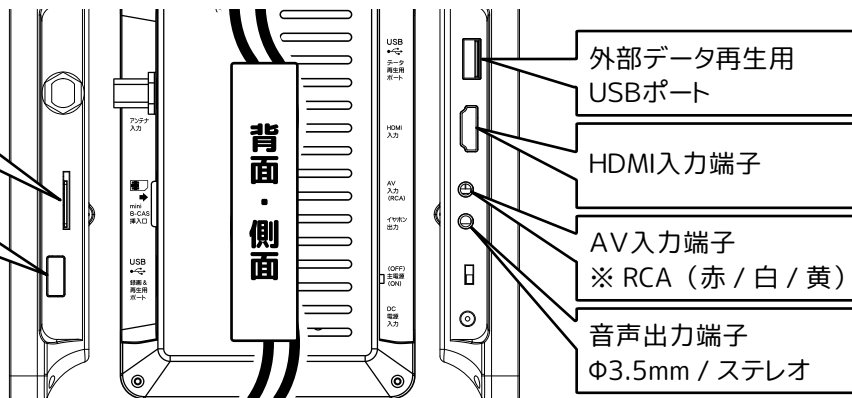
外部機器の接続 / 入力ソース切換

外部機器の接続

★ miniB-CASカード
スロット (P.12)

★ 地デジ録画用
USBポート (P.23)

(注) ★印の端子は
DTV (テレビ) モード
用端子です。

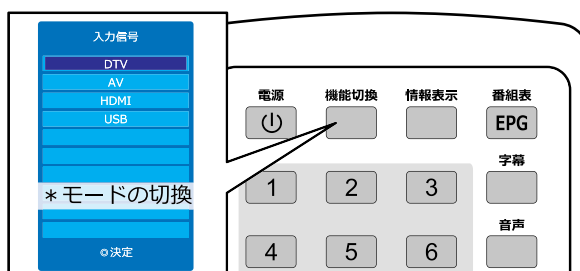


- miniB-CAS スロット ※DTV モード用 / miniB-CAS カードを取付けます。(P.12)
- 録画用 USB ポート ※DTV モード用 / 録画用メディアを取付けます。(P.23)
- 外部データ再生用USBポート：
本機付加機能として「メディアプレーヤーソフト」が内蔵されています。
このポートに「動画や音楽のデータ保存されたメディア」を接続するとデータのご視聴ができます。 ※ 詳細はメディアプレーヤーソフト (P.30 ～) をご参照ください。
- HDMI入力 * 端子 : HDMI 接続ケーブル (市販品等) を利用して外部機器と接続を行うための入力端子です。
- AV入力 * 端子 : AV 接続ケーブル (付属品) を利用して外部機器と接続を行うための入力端子です。
- 音声出力端子 : イヤホンや外付けスピーカー等の機器との接続用端子です。

(*) 〈AV 入力〉及び〈HDMI 入力〉では本機は外部機器のモニターとして動作します。
接続した外部機器側を本機で操作することはできません。

入力ソース切換 (モード切換)

- 「機能切換」を押します。
- 〈モード切換タグ〉が表示されたら
「▲/▼」でカーソルを移動します。
- 「決定」を押すとモードが切替ります。



(ヒント) 〈モード切換タグ〉表示は、しばらくすると消えます。

メディアプレーヤーソフトの利用

(外部データの再生)

- ◎外部メディア（USBフラッシュメモリーやHDDなど）に保存されたデータをパソコンなどを介さずに本機で直接ご視聴いただけるソフトが内蔵されています。

⚠ 外部メディアについて

- ※【FAT32】【NTFS】以外のフォーマット形式のメディアは正しく認識されません。他の形式でフォーマットされたメディアをご使用される場合、パソコン等で【FAT32】又は【NTFS】にフォーマット変更を行ってからご視聴されるデータを保存して本機と接続してください。
- ※当機能ご利用前に外部メディアに保存されたデータのバックアップをとることを強く推奨いたします。（データの破損や消去による損害などについて当社は一切その責任を負いません）
- ※外部メディアはメーカー・型式・仕様などにより認識されない場合があります。この場合は他メーカーの物や仕様が異なる物で読み込み可能かをお試しください。
- ※外部メディアに関する動作保証やサポートは行っておりませんので予めご了承ください。

⚠ メディアに保存されたファイルの保存形式

- 当機能でご視聴いただけるデータのファイル保存形式は下記の通りです。

【動画】：MP4(.mp4) / MPEG-PS(.mpg) / WMV(.wmv) / AVI(.avi) / 3GP(.3gp)

【音楽】：MP3(.mp3) / WMA(.wma) / WAV(.wav) / AAC(.m4a/.aac など)

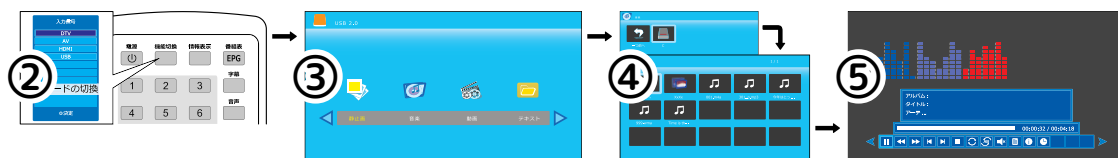
【静止画】：JPEG(.jpg) / BMP(.bmp) 【テキスト】：テキスト(.txt)

- ※上記形式で保存されたデータでも高画質（高解像度）の物や圧縮率・コーデック不一致などにより正しく読み込めず「映像が出ない」「音が出ない（途切れる）」などが起こる場合があります。
- ※ソフト仕様によりメディアに保存された順序で再生されない場合があります。

データの再生 / データの削除

◎ データの再生

- ① 視聴データを保存した外部メディアを〈外部データ再生用ポート〉に取付けます。
(注) 〈地デジ録画用ポート〉と間違えないようご注意ください。
- ② 入力ソースを〈USB モード〉に切り換えます。 ※参照：入力ソース切替 (P.29)
- ③ 視聴するジャンルを選択して「決定」を押すとデバイス項目に進みます。
- ④ デバイス〈C〉を選択して「決定」を押すと各データ名が表示されます。
- ⑤ 視聴したいデータ名を選択して「決定」を押すとデータ再生が始まります。



◎ データの削除

- 上記①～④の操作後、削除したいデータにカーソルを合わせて「赤」を押します。
→画面上に〈削除しますか？はい/いいえ〉と表示されます。
はいを選択して「決定」を押すとデータが削除されます。
(注) 一度削除したデータを復元することはできません。

メディアプレーヤーの操作 (操作バー)

データ再生中に、リモコン「情報表示」を押すと、画面に<操作バー>が表示されます。<操作バー>からデータの再生や一時停止などの操作が行えます。



<静止画ファイル再生>



- ▶(II) 再生/一時停止 (=【タイムシフト】ボタン)
- ▶ 前のデータへ移動 (=【前へ】)
- ▶ 次のデータへ移動 (=【次へ】)
- 再生停止 (=【停止】)
- リピート再生設定 (=【リピート】) ※<None>: 無 → <1>: 1 ファイルリピート → <ALL>: 全ファイルリピート ↩
- 🎵 音楽設定 ※メモリー内に音楽ファイルがある場合、背景音楽の有無を選択
- 📖 プレイリスト: 静止画(画像) ファイルとして認識したファイルをリスト表示
- 📄 インフォメーション: 再生中データの情報表示
- 🔄 90 度右回転: 画像を 90 度右へ回転
- 🔄 90 度左回転: 画像を 90 度左へ回転
- 🔍 拡大ズーム: 最大 8 倍拡大表示
- 🔍 縮小ズーム: 最小 1/4 倍縮小表示
- ✎ ※Move View (※本機では使いません)
- 🖼 表示画像をキャプチャーして起動時の画面に設定

* 操作バー表示後に操作をしない場合、数秒すると操作バーは消えます。

<音楽ファイル再生>



- ▶(II) 再生/一時停止 (=【タイムシフト】ボタン)
- ⏮ 早戻し (=【早戻し】) ※再生 / x2/ x4/ x8/ x16 ↩
- ▶ 前のデータへ移動 (=【前へ】)
- ▶ 次のデータへ移動 (=【次へ】)
- 再生停止 (=【停止】)
- リピート再生設定 (=【リピート】) ※<None>: 無 → <1>: 1 ファイルリピート → <ALL>: 全ファイルリピート ↩
- 🔄 A to B リピート: セット地点 A から地点 B までの間をリピート再生させる設定機能
- ※セットなし → 【決定】: A 地点セット → 【決定】: B 地点セット & リピート設定 → セットなし ↩
- 🔇 消音ミュート設定 (=【消音】)
- 📖 プレイリスト: 音楽ファイルとして認識したファイルをリスト表示
- 📄 インフォメーション: 再生中データの情報表示
- 🕒 検索時間入力設定: データの再生スタート時間を設定

<動画ファイル再生>



- ▶(II) 再生/一時停止 (=【タイムシフト】ボタン)
- ⏮ 早戻し (=【早戻し】) ※再生 / x2/ x4/ x8/ x16/ x32 ↩
- ▶ 前のデータへ移動 (=【前へ】)
- ▶ 次のデータへ移動 (=【次へ】)
- 再生停止 (=【停止】)
- リピート再生設定 (=【リピート】) ※<None>: 無 → <1>: 1 ファイルリピート → <ALL>: 全ファイルリピート ↩
- 🔄 A to B リピート: セット地点 A から地点 B までの間をリピート再生させる設定機能
- ※セットなし → 【決定】: A 地点セット → 【決定】: B 地点セット & リピート設定 → セットなし ↩
- 📖 プレイリスト: 動画ファイルとして認識したファイルをリスト表示
- 📄 インフォメーション: 再生中データの情報表示
- 🔍 スロー再生: 【決定】を押すごとにスロー再生 & 倍速切換え ※再生 / x2 / x4 / x8 / x16 ↩
- 🔍 ステップ再生: 【決定】を押すごとにコマ送り再生
- 🕒 検索時間入力設定: データの再生スタート時間を設定
- 🖼 画面表示サイズ切換え: 【決定】を押すごとに表示サイズ変更 ※自動 / 16:9 / 4:3 ↩

* 操作バー表示後に操作をしない場合、数秒すると操作バーは消えます。

<テキストファイル再生>



- ⏮ 前のページへ移動 (=【早戻し】)
- ▶ 次のページへ移動 (=【早送り】)
- ▶ 前のデータへ移動 (=【前へ】)
- ▶ 次のデータへ移動 (=【次へ】)
- 再生停止 (=【停止】)
- 🎵 音楽設定 ※メモリー内に音楽ファイルがある場合、背景音楽の有無を選択
- 📖 プレイリスト: テキストファイルとして認識したファイルをリスト表示
- 📄 インフォメーション: 再生中データの情報表示

* 操作バー表示後に操作をしない場合、数秒すると操作バーは消えます。

機器の調整（機器設定メニュー）

DTV モード利用時に機器設定メニューを表示する

- ①「機能切換」を押し〈モード切換タグ（P.29）〉を表示します。
- ② タグ表示中に「設定」を押し〈機器設定メニュー〉を表示します。
- ③ 各項目を「▲/▼/◀/▶/決定/設定」で機器の設定を調整します。
- ④ 調整を終えたら「戻る」で機器設定メニューを閉じます。

（ヒント）＊〈モード切換タグ〉表示は、しばらくすると消えます。

＊ その他のモードでは「設定」を一度押すと設定メニューが表示されます。

〈モード切換タグ〉



〈機器設定メニュー〉から機器の調整を行う

〈機器設定メニュー〉

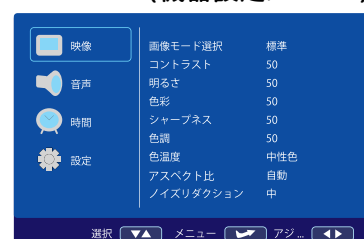
◎ 機器設定メニューの操作

「決定」：選択の実行（又は次の選択肢へ進む）

「設定」：一つ前の選択肢へ戻る

「▲/▼/◀/▶」：カーソル移動

「戻る」：メニュー画面を閉じる



◎ 機器設定メニュー詳細

- 映像：
 - ① 画像モード選択 >> 標準 / ビビット / ユーザー（*1） / ソフト
 - ② 色温度 >> 中性色 / 寒色系 / 暖色系
 - ③ 画面表示サイズ（アスペクト比） ※選択肢（*2）は下記参照
 - ④ ノイズリダクション >> オフ / デフォルト / 高 / 中 / 低
- 音声：
 - ① 音声選択モード >> 標準 / 音楽 / 映画 / スポーツ / ユーザー（*1）
 - ② バランス >> -50 ~ 0 ~ 50
 - ③ 自動ボリューム >> オン / オフ
 - ④ サラウンド >> オフ / サラウンド
- 時間：
 - ① 日時設定
 - ② オフタイマー >> オフ / 時間設定
 - ③ オンタイマー >> オフ / 時間設定
 - ④ スリープタイマー >> オフ / 10 / 20 / 30 / 60 / 90 / 120 / 180 / 240 分
- 設定：
 - ⑤ オートスリープ >> なし / 4 / 6 / 8 時間
 - ① 言語 / Language >> 日本語 / 英語 / ドイツ語 / フランス語 / イタリア語
スペイン語 / ポルトガル語
 - ② 工場出荷時設定 >> 実行しますか？（→はい / いいえ）

（*1）「コントラストや明るさ微調整」「高音や低音の調整」は選択肢を〈ユーザー〉に設定します。

（*2）画面表示サイズ（アスペクト比）は各モードで設定項目が異なります。

＊DTVモード：（自動 / 4:3 / 16:9 / ズーミング / ズーミング / JustScan / 16:9 / PointToPoint）

＊AVモード：（自動 / 4:3 / 16:9 / ズーミング / ズーミング / 16:9）

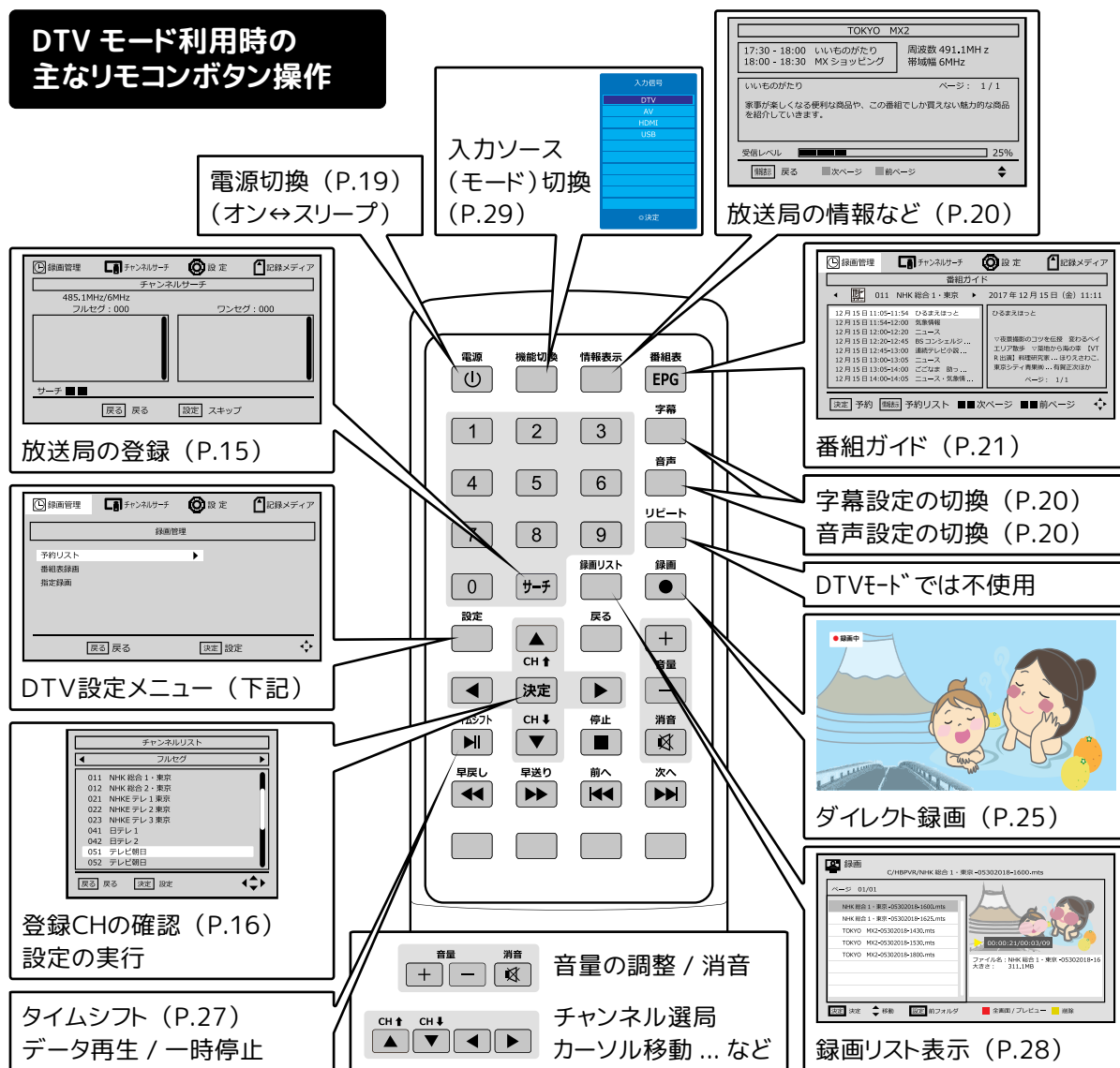
＊HDMIモード：（自動 / 4:3 / 16:9 / ズーミング / ズーミング / JustScan / 16:9 / PointToPoint）

＊USBモード：（自動 / 4:3 / 16:9）

リモコンの主なボタン操作

(テレビモード)

DTV モード利用時の 主なリモコンボタン操作



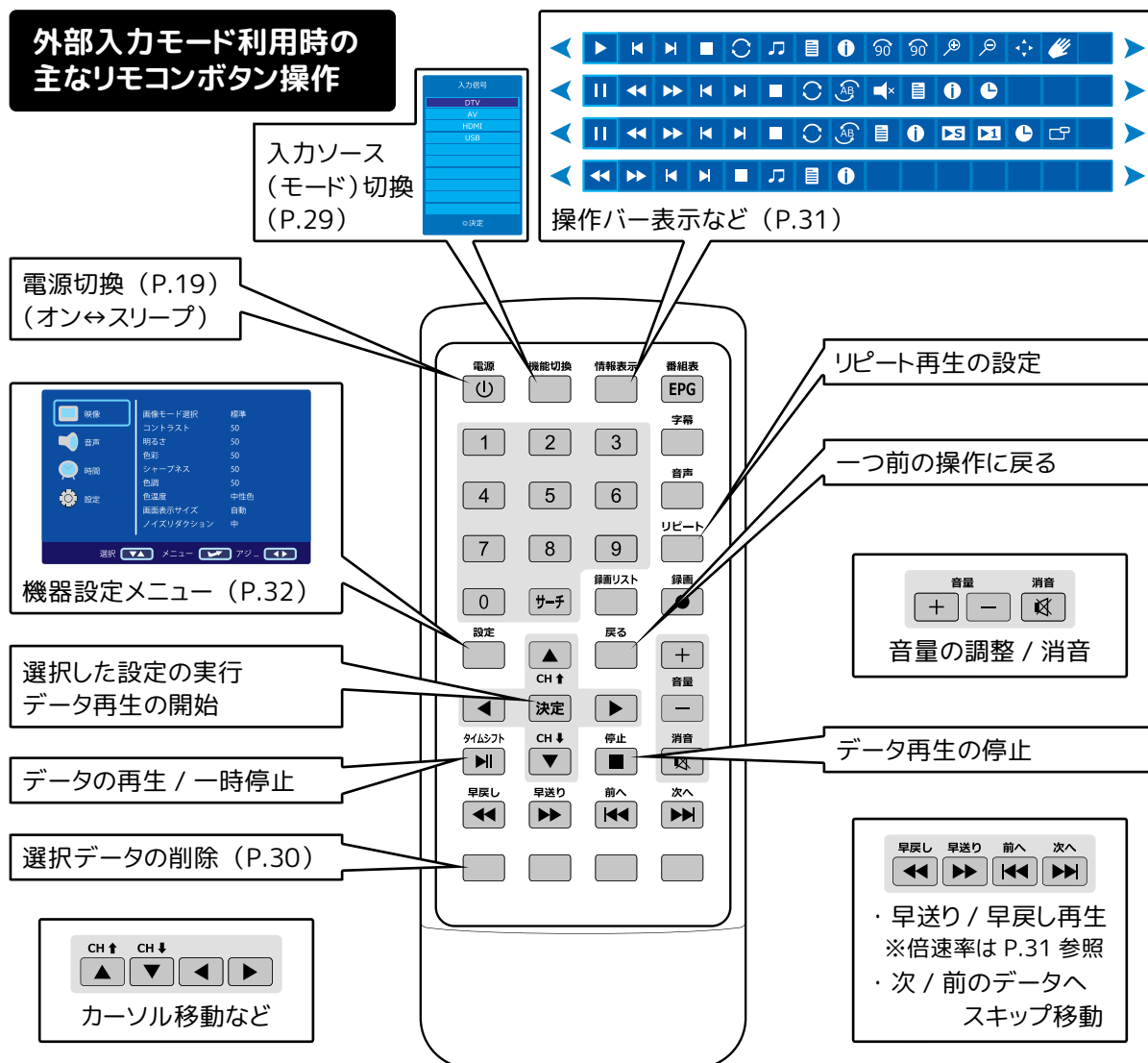
DTV 設定メニュー

- 録画管理 (P.25~)
- チャンネルサーチ (P.15)
- 設定: ① 解像度 >> 480i / 480p / 720P / 1080i / 1080p*
- ② 受信切替 >> 自動* / ワンセグ / フルセグ
- ③ 工場出荷時設定 >> 確認表示後、はい / いいえ
- ④ デバイス情報 >> システム情報表示
- ⑤ ファームウェア更新 (通常時は使用しません)
- 記録メディア: 録画用スロットに取付けたメディアを管理します。
- ① メディア再生 (録画リスト表示) ② メモリー管理 (P.24)

リモコンの主なボタン操作

(その他のモード)

外部入力モード利用時の 主なリモコンボタン操作



メディアプレーヤーソフト (USB接続) の基本操作は上記ボタンを利用します

⚠️ ご注意 (ご確認) ください

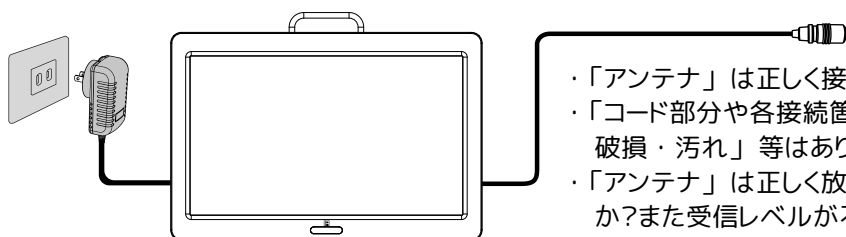
- ※〈AV モード〉および〈HDMI モード〉では本機は外部機器からの入力ソースのモニターとして作動します。本機リモコン操作で外部機器側を操作することはできません。
- ※〈USB モード (メディアプレーヤーソフト)〉のご利用には以下が必須です。
 - ①『本機以外に《本機で読み可能なデータが保存された外部メディア》のご用意があること』
 - ②『①のメディアが本機端子〈外部データ再生用 USBポート〉に正しく接続されていること』
 詳しくは本書 P.29~ をよくお読みください。
- ※外部メディアに関する動作保証やサポートは行っておりませんので予めご了承ください。

◎故障かな?と思ったら、サポートセンターへお問合せの前に以下を再度ご確認ください。

■「電源が入らない」「放送が映らない」などの場合

〈電源 (P.14)〉〈充電電池 (P.18)〉〈アンテナ (P.13)〉をご確認ください。

- ・「コンセント」「電源アダプター」「本体」はそれぞれ正しく接続されていますか?
- ・「コード部分や各接続箇所 (端子部分) の断線・破損・汚れ」等はありませんか?
- ・充電電池でご利用される場合、電池の残量は足りていますか?



- ・「アンテナ」は正しく接続されていますか?
- ・「コード部分や各接続箇所 (端子部分) の断線・破損・汚れ」等はありませんか?
- ・「アンテナ」は正しく放送波を受信できていますか? また受信レベルが不足していませんか?

■このような場合は故障ではありません

※キャビネットなどから「ピシッ」というような軋み音がする場合があります。これは設置場所の温度変化によりキャビネットの伸縮が起きた時に発生する音です。液晶画面部分やスピーカーの高音等に異常がなければ機器のご利用にあたり問題はありません。

※本機電源が待機 (スリープ) 状態の時、機器内部から「カチッ」という音がする場合があります。これは番組情報取得などを行う際に機器内部が動作した時で発生する音です。内部部品製造時における構造上の仕様につき故障ではありませんのでご了承ください。

※液晶パネルにはごくわずかな画素欠けや常時点灯画素がある場合があります。これは液晶パネル製造時の特性における仕様につき故障ではありませんのでご了承ください。

■よくあるお問合せ ■

テレビ番組のご視聴 (受信) について

「特定のチャンネルが視聴できないのは故障ですか?」 などのお問合せをいただくことがあります。テレビ番組をご視聴いただくには下記 ① / ② の条件が整うことが必須条件です。

条件①: 「本機に繋ぐアンテナが電波 (信号) を正しく受信できる場所に設置してある」

条件②: 「本機に繋いだアンテナが電波を正しく伝送しつづける」

ご準備いただいたアンテナ (P.13) と接続し、本機に放送局の登録 (P.15) を行った際に、1局でも放送局が登録された場合、本機側 (チューナーや主要基盤等) には故障はありません。アンテナ側が原因である場合がありますので、以下のご確認をお願いいたします。

確認①: 「アンテナの設置場所・方向がその地域に見合った位置であるかどうか」

確認②: 「アンテナの電波受信力が不足 (または過多) ではないか」

(この場合、ブースターや減衰器が必要になる場合があります)

※アンテナの調整や共同アンテナについてはアンテナ側メーカー・アンテナ設置業者・共聴システム管理者等にお問合せください。(アンテナに関するサポートは行っておりません)

※付属品の簡易アンテナは受信力が強い物ではありません。

「付属のアンテナで視聴できない」場合、受信力の強く安定するアンテナをご利用ください。

◎故障かな?と思ったら、サポートセンターへお問合せの前に以下を再度ご確認ください。

Q&A（電源 / リモコン）

・ 電源が入らない ・ 急に電源が落ちた	・ 付属品リモコンでは本体主電源のオン・オフは操作できません。 →主電源スイッチの確認（P.8 / P.14） ・ 電源（コンセント）・アダプター・機器の各接続部分が正確に取り付けられているかご確認ください。（P.14） ・ 内蔵充電電池の充電状態をご確認ください。（P.18） ・ オフタイマーの設定をご確認ください。（P.32）
・ リモコンが効かない	・ リモコンの電池を交換してください。（P.10） ・ 本体のリモコン受光部に向けて操作してください。（P.14） （注）リモコンと本体の間に障害物があると操作が効きません。

Q&A（視聴・再生）

・ 映像も音声も出ない	・ アンテナが外れていませんか？ →アンテナの確認（P.13） ・ 入力ソースをご確認ください。 →モード切替（P.19 / P.29） ・ 電源（コンセント）・アダプター・機器の各接続部分が正確に取り付けられているかご確認ください。（P.14） ・ 内蔵充電電池の充電状態をご確認ください。（P.18）
・ 音声がでない	・ 消音状態になっていませんか？ ・ イヤホン端子に機器が接続されていませんか？ ・ 外部機器と正しく接続されていますか？
・ 映像にノイズが出る ・ 画面に斑点や線 ・ 音声に異音が混ざる ・ 音声が乱れる ... など	・ アンテナの設置場所や方向をご確認ください。（P.13） ・ 「高圧線」「ネオン」「他の電子機器」などから電波（磁気）干渉が起きている可能性があります。本機を電波（磁気）の影響が低い場所に移動してご利用ください。
・ 縦線状の妨害が出て見えない	・ アンテナまたはアンテナ端子部分への妨害電波やノイズの影響が考えられます。この場合アンテナの高さや方向を調整するとある程度抑えることが出来ます。アンテナ・接続ケーブル・端子部分をご確認ください。 ・ アンテナ接続ケーブルやその端子部分が外部機器やその他電子機器と近接している場合、設置場所を移動してください。

◎故障かな?と思ったら、サポートセンターへお問合せの前に以下を再度ご確認ください。

Q&A（視聴・再生）

・フルセグサービスで番組視聴ができない	・ B-CAS カードをご確認ください。(P.12) ・ アンテナの設置場所や方向をご確認ください。(P.13) ・ アンテナ受信レベルをご確認ください。(P.17) ・ 放送サービスの優先度をご確認ください。 →DTV 設定メニュー→受信切替 (P.33)
・ 色が薄く見える ... など	・ 機器設定をご確認ください。(P.32) ・ 外部機器との接続をご確認ください (P.29) ・ 旧アナログ放送時の再放送番組をご視聴される場合、その画像は著しく悪く見えることがあります。
・ 設置場所を移動したら視聴できなくなった (引越しなど)	・ 本機の設置場所を他の地域に移動させた場合、改めてその地域で視聴 (受信) 可能な放送局 (CH) の登録が必要です。(P.15 ~)

Q&A（録画・外部メディア）

・ 番組の録画ができない	・ 録画に関する機能の利用には別途市販品等のデータ記録用メディアが必要です。(P.23) ※メディアのフォーマット仕様・空き容量などにご注意ください。 ・ 本体側の USB 接続ポートをご確認ください。 ※録画用ポート側にメディアが設置されていないと録画に関する機能の利用はできません。
・ メディアプレーヤー	・ メディアプレーヤーの利用には別途データが保存されたメディアが必要です。(P.30) ※メディアのフォーマット仕様・空き容量などにご注意ください。 ・ 本体側の USB 接続ポートをご確認ください。 ※外部データ用ポート側にメディアが設置されていないとメディアプレーヤーの利用はできません。

その他の症状が起きた場合 ...

- ・ その他症状が起きた場合、本体システムの初期化を行ってください。
〈機器設定メニューから初期化：P.32〉〈DTV 設定メニューから初期化：P.33〉

◎故障かな?と思ったら、お問合せの前に下記および本書を再度ご確認ください。

テレビ受信

・ワンセグサービスでしか視聴できない	・フルセグサービスのご視聴には「miniB-CAS カード」の設置が必須です。カードが正確に取り付けられているかご確認ください。(P.12) ・放送サービスが「ワンセグ」でご視聴の場合「フルセグ」と比較すると画質や音質が劣ります。視聴中の放送サービスをご確認ください(P.33)
・番組視聴中に「映像」「文字情報」「番組内の時刻表示」がズレる	・デジタル放送特有の現象です。デジタルデータの受信形式のため電波の受信から映像化されるまでの時差により数秒程度ズレて表示する場合があります。

製品仕様

本体サイズ	224×150×28.5mm ※スタンドその他突起物を除く
本体重量	約 600g ※内蔵充電電池含む
液晶	9 インチTFT/LEDバックライト/ 1024*600RGB
消費電力	約 13W (待機時: 0.8W)
設置環境 (推奨)	(温度) 0 ~ 40 °C ※結露なきこと
出力端子	電源入力・AV (RCA) 入力・イヤホン出力・アンテナ入力 miniB-CAS 差込口・USB2.0 ポート ×2 (録画用・データ再生用) 〈録画用ポート〉 *フォーマット形式: FAT32/NTFS *推奨容量: ~500GB 〈データ再生用〉 *フォーマット形式: FAT32 *推奨容量: ~16GB
スピーカー出力	2W×2 (ステレオ)
内蔵充電電池 (充電/駆動時間)	Li-po 7.4V 2000mAh 14.8Wh 満充電まで約4時間/連続駆動約1時間 ※充電/駆動時間は設置環境や使用方法により変化します
地デジ受信CH	地上デジタル放送 (UHF/ 物理CH: 13 ~ 62ch) ※CATVパススルー対応 ※ネット回線による受信環境には非対応
EPG番組ガイド	8 日
対応ファイル形式 (メディアプレーヤー)	《動画》 MP4, MPEG-PS, WMV, AVI, 3GP 《テキスト》 TXT 《音楽》 MP3, WMA, WAV, AAC 《画像》 JPEG, BMP ※上記ファイル形式でも再生できない場合があります

【付属品】 ・リモコン・AC アダプター・DC12V 車用シガーアダプター・簡易TVアンテナ (詳細 P.7) ・車載用バッグ・AVケーブル・miniB-CAS カード・取扱説明書・製品保証書

その他（各種注釈や免責など）

デジタル放送のコピー制御について

- 本機をご利用される際は付属の miniB-CAS カードを挿入してください。地デジ放送（フルセグ）はコピー制御の為、B-CAS の機能が利用されています。挿入されない場合、地デジ放送（フルセグ）では受像化ができず各番組のご視聴はできません。
デジタル放送は鮮明で迫力あるハイビジョンなど高画質の放送番組がご視聴でき、また高画質のまま録画できることが特徴のひとつです。但し、著作権への配慮が必要な為、各地デジタル放送局では、電波にコピー制御信号を加えて放送しています。この制御により著作権を保護しながら番組の制作し放送できるように取り組んでいます。
(コピー制御信号の実際の運用は、個々の放送局が判断をしています)

液晶パネルについて

- 液晶パネルは高精度の技術で作られており、微細な画素の集合で表示しています。99.99%以上の有効画素があり、ごく一部（0.01%以下）に光らない画素や、常時点灯する画素がありますが、故障ではありませんので予めご了承ください。

機器の温度・設置環境の温度

- 本機を長時間使用した時、液晶パネルや外装に熱を持つ場合があります。熱く感じる場合もありますが故障ではありません。
- 液晶パネルの特性により、設置環境の温度が低い場合、画像がぼやけたり動きがスムーズに見えなかったりすることがありますが故障ではありません。常温に戻ると回復します。

機器の輸送について

- 本体を横倒しにして輸送した場合、液晶パネル部の破損や画欠点などの恐れがありますので横倒しでの輸送は行わないでください。

製品の廃棄について

- 製品を廃棄する場合はお住まいの自治体の指示に従って廃棄してください。
(注) 自治体により「燃えないゴミ」「資源ゴミ」「粗大ゴミ」「小型電気製品回収」など取り扱い方法が異なりますのでご注意ください

その他（各種注釈や免責など）

免責について

- お客様（又は第三者）が本製品の使用によって生じた損害等について、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社では一切その責を負いませんので予めご了承ください。（誤使用により生じた故障・使用中の故障・その他の不具合事象等含む）
- 当社が関与しない機器（他メーカー機器やデータやソフト等）などとの組み合わせによる誤作動や故障やその他不具合などによって生じた損害等について、当社では一切その責を負いませんので予めご了承ください。
- 取扱説明書（本書）の記載事項を守らないことにより生じた損害や事故等について、当社では一切その責を負いませんので予めご了承ください。

アフターサービス／保証規定

保証書（別添）

- 本品付属品として製品保証書が同梱されています。お買い上げ販売店にて「お買い上げ日」「販売店情報」を正確にご記入いただき、記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

「充電電池の交換」や「修理」をご依頼される場合

- 本書をお手元にご用意の上、当社お客様サポートセンターまで「電話」「FAX」「E-MAIL」「当社ホームページ問合せフォーム」にてお問合せください。お問合せ内容を確認の上、その内容に適したサポートをご案内させていただきます。

お客様サポートセンター

 **03-5670-0328**

（電話受付時間：【平日】10:00～12:30 / 13:30～17:00）



あかーと

検索

<https://akart.jp>

〒124-0025 東京都葛飾区西新小岩 5-26-15-1F
株式会社AKART.（アカート） サポートセンター
FAX: 03-5670-0378 / E-MAIL: support@akart.jp

（注）休日明けの営業日等は電話が混み合い繋がりにくい場合がありますので予めご了承ください。

アフターサービス／保証規定

保証規定

- 保証書（別添）に記載された「保証期間」において製品（本体）の故障や不具合が発生した場合、当社保証規定に準じて無料で修理等を行うことをお約束いたします。保証期間内に修理等をご依頼いただく場合、無料保証の対象であるかをご確認の上、「お客様サポートセンター（P.40）」までお問合せください。

- (1) 無料保証を受ける場合、「必要な情報が正しく記入された保証書（別添）」または「保証書に準ずる書類（購入店舗や日時を証する書類など）」をお手元にご用意の上、当社サポートセンターまでお問合せください。
(注) 当社サポートセンターにおいて「店舗名やご購入日時が確認できない」場合、無料保証の対象外となりますので予めご了承ください。
- (2) 無料保証の対象は製品本体のみです。付属品（消耗品）は保証対象外です。
- (3) 下記のような場合、保証期間内であっても原則として有料対応となります。
 - 保証書（又は準ずる書類）のご提示が無い場合
 - 保証書に必要な情報が記入されていない場合
あるいは字句が書き換えられている場合
 - 誤ったご使用や不当な修理・改造で生じた故障、損傷
 - お買い上げ後の落下や輸送などで生じた故障、損傷
 - ほこり、昆虫類等の侵入、火災、天変地異（地震、風水害、落雷など）、塩害、ガス害、異常電圧などで生じた故障、損傷
 - 一般家庭用以外（例えば業務用途など）で使用された場合の故障、損傷
 - 本製品以外を起因とする不具合や故障、損傷
 - ご使用に伴う摩耗や色あせなどの外観上の変形や不具合
 - 消耗品および付属品類の交換（修理）費用
 - 離島または離島に準ずる遠隔地への輸送費用
- (4) 当規定による保証は日本国内においてのみ有効です。（Warranty void only Japan）

■ 修理等の対応サービスについて

- ※ 出張による修理や設置などのサービスは一切行っておりませんので予めご了承ください。
- ※ 故障や不具合に対する対応サービスが「新品（代替品含む）との交換」となった場合、次回以降の対応につきましてはすべて有料での対応とさせていただきます。
- ※ 当社と未取引の販売店（代理店を含む）でお買い上げいただいた場合、お買い上げ店での対応となる場合があります。
- ※ 個人間での売買（オークション等含む）や譲渡されたものは無料保証の対象外となりますので予めご了承ください。
- ※ 修理対応を行う場合、機器内部のパーツ部品交換などの為、仕様等が若干変わる場合がありますので予めご了承ください。

型番：OT-PT90AK

長期間ご使用されていなかった場合、再度ご利用いただく際に点検をお願いいたします。



愛情点検

ご使用いただく前に ...

- 本体ケース（プラスチック部）に歪みや変形や割れなどはありませんか？
- ケーブル類に破損や断線や錆などはありませんか？
- その他の異常や故障が見つかった？

ご使用中やご使用後に ...

- 充電時に正しく充電が行われていますか？
- 充電で駆動した場合の動作に異常はありませんか？
- 本体やアダプターが異常に熱くなる？ 異音や異臭がする？

（お願い） ●上記のような場合、機器の故障や事故防止のため、

① アダプターをコンセントから外してください。 ② 本体の主電源をオフ（切）にしてください。

●①／②の後、お客様サポートセンターまでご連絡ください。（修理や点検に要する費用なども合せてご案内いたします）

お客様サポートセンター



03-5670-0328

（電話受付時間：【平日】 10:00 ～ 12:30 / 13:30 ～ 17:00）



〒124-0025 東京都葛飾区西新小岩 5-26-15-1F
株式会社AKART.（アカート） サポートセンター

（注）休日明けの営業日等は電話が混み合い繋がりにくい場合がありますので予めご了承ください。